BUFFALO

リンク シアター
LinkTheater

ネットワークメディアプレーヤー

PC-P4 シリーズ

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク ……… **⚠注意** に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意してすべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク… **次へ** に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
 A: フロッピードライブ
 C: ハードディスク
 E: CD-ROM ドライブ
・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
・文中 <　> で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。（例）<Enter>

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

■ 電波に関する注意 (PC-P4LWAG)

●本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

●次の場所では、本製品を使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）

●本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

・本製品を分解／改造すること
・本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

●本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

・産業・科学・医療用機器
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

①構内無線局（免許を要する無線局）
②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

●本製品を使用する場合は上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。

3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	OFDM 方式 / DS-SS 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

目 次

使ってみよう

詳細設定

付録

使ってみよう

本製品の使いかたや、設定方法について説明しています。

制限事項

本製品でパソコンが認識できないときは

ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品でパソコンが認識できないことがあります。このようなときは、ファイアウォール機能を無効にするか、ポートの使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。【P42】

LinkStation/TeraStation などのデータ再生について

「はじめにお読みください」ステップ 3 のメディアサーバ設定で、ネットワークドライブ (LinkStation や TeraStation など) のフォルダを追加すると、ネットワークドライブのデータを本製品で再生することができます。
この場合、以下の制限がありますのでご注意ください。

●追加したフォルダに大量の写真データがあると、サムネイル生成時にネットワーク負荷がかかるため、動画、音楽再生時にコマ落ちや途切れなどが発生することがあります。
大量の写真データが保存されているフォルダを追加しないことをおすすめします。

AirStation に AOSS で接続する方へ

AirStation と AOSS で接続している場合、その他の機器が AOSS で接続するとセキュリティレベルが変化し、本製品からサーバーが見えなくなることがあります。このようなときは、再度 AOSS で本製品と AirStation を接続してください。

再生できるファイルの種類

本製品で再生できるファイルの種類は、次の通りです。

対応動画フォーマット形式 (※ 1)	[MPEG-1] 最大解像度 720x480 MPEG-1 System 最大ビットレート：10Mbps(無線 LAN 使用時 /8Mbps) [MPEG-2] 最大解像度 720x480 MPEG-2 PS 最大ビットレート：10Mbps(無線 LAN 使用時 /8Mbps) MPEG-2 TS(※ 2) 最大ビットレート：10Mbps(無線 LAN 使用時 /8Mbps) [MPEG-4] 最大解像度 720x480 MPEG-4 ISO [MPEG-4 Part 1, 12, 14, 15] 最大ビットレート：4Mbps(無線 LAN 使用時 /2Mbps) MPEG-4 ISMA 1.0 最大ビットレート：4Mbps(無線 LAN 使用時 /2Mbps) [MPEG4-AVC Baseline プロファイル] 最大解像度 720x480 最大ビットレート：Level3,2.1　2Mbps (無線 LAN 使用時 /2Mbps) Level1.3　768Kbps (無線 LAN 使用時 /768Kbps) [Windows Media Video 7/8/9] 最大解像度 720x480 WMV(※ 3), ASF 最大ビットレート：2Mbps [XVid]　最大解像度 720x480 AVI 最大ビットレート： 4Mbps(無線 LAN 使用時 /2Mbps)
対応音声フォーマット形式 (※ 3、4)	・リニア PCM(*.WAV) ・MPEG-1 Audio Layer-3 (*.MP3) ・Windows Media Audio (*.WMA)(※ 5)
対応画像フォーマット形式	・JPEG(ベースライン JPEG 対応 / プログレッシブ JPEG 非対応) ・BMP ・PNG
認識できるファイル拡張子	本体のみで対応 動画：m2p(※ 6), mpg,mpe,mpeg,vob,mp4,wmv,asf,avi 音楽：wav,mp3,wma 写真： jpg,jpeg,png BUFFALO メディアサーバをインストールしたパソコン、対応 LinkStaion/ TeraStation によるトランスコードで対応 写真：bmp,gif
接続可能な USB 機器	マスストレージクラスに対応した以下の USB 機器 (※ 7) ハードディスク、フラッシュメモリ、カードリーダ、デジタルカメラ

※ 1：本製品を 11Mbps の無線 LAN で接続した場合、または USB1.1 の機器から再生した場合、3Mbps 以上のファイルではコマ落ちや音とびが発生することがあります。
※ 2：早送り、巻き戻しの操作はできません。
※ 3：ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。
※ 4：音声が 5.1ch の場合、2ch にダウンサンプリングされます。
※ 5：WMA Pro には対応していません。
※ 6：Buffalo Media Server 使用時のみ対応です。
※ 7：FAT または FAT32 でフォーマットされた機器のみ (NTFS には対応していません)。ただし、お使いの USB 機器によっては正常に認識できないことがあります。

再生するフォルダを登録する

本製品でパソコンのファイルを再生するには、パソコンの画面で再生フォルダを登録してください。

1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer]-[BUFFALO メディアサーバ設定]を選択します。

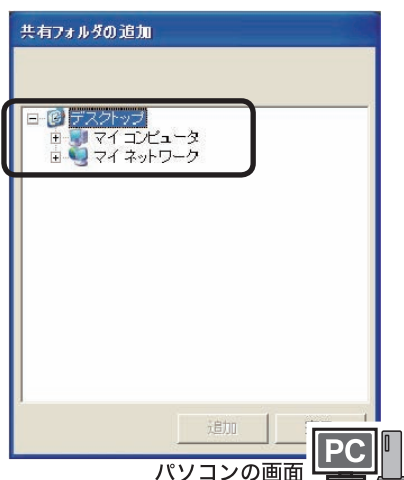
メモ Windows Vista をお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。このようなときは、[続行]をクリックしてください。

2 [共有フォルダ]タブを選択し、[追加]をクリックします。

パソコンの画面 PC

※本書では、テレビ画面とパソコン画面のどちらの画面を説明しているのか分かるよう、パソコン画面に パソコンの画面 PC と案内しています。
※本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。

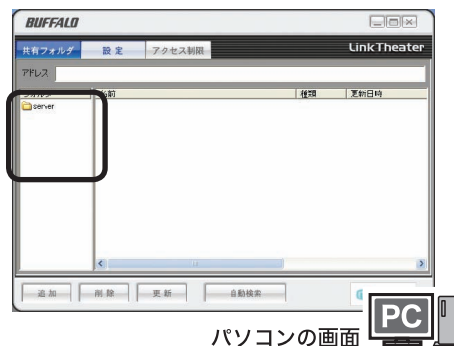
3 再生したいファイルがあるフォルダを選択します。

パソコンの画面 PC

メモ ネットワークドライブ(LinkStation や TeraStation など)のフォルダを追加すると、ネットワークドライブのデータを本製品で再生することができます。

4 [追加]→[完了]の順にクリックします。

パソコンの画面 PC

5 追加したフォルダが表示されます。

パソコンの画面 PC

メモ 画面を閉じるときは、タイトルバー右の ✕ をクリックしてください。

以上で再生フォルダの設定は完了です。

データをテレビで再生する

次のようにパソコンやサーバのデータをテレビで再生することができます。

⚠注意
- テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子からの表示ができる状態にしてください。
- ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。

1 テレビに表示されているログイン画面で、[コンテンツを選択] を選択し、 リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

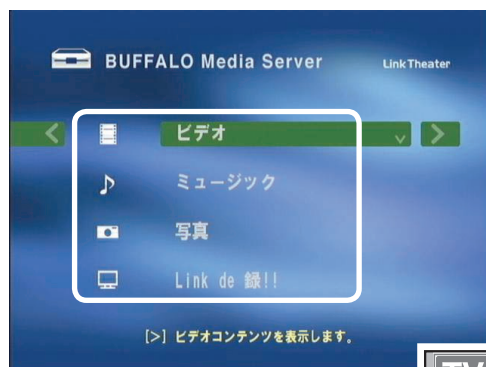
テレビの画面 TV

※本書では、テレビ画面とパソコン画面のどちらの画面を説明しているのか分かるよう、テレビ画面に テレビの画面 TV と案内しています。

※本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。

2 表示されたサーバの一覧から、接続したいサーバを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 再生したいジャンルを選択し、 リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

メモ 他社製のメディアサーバやサーバ名の末尾に「Buffalo Server」や「LinkStation」、「TeraStation」と表示された弊社製メディアサーバではこのメニューは表示されません。表示内容は接続するメディアサーバによって異なります。

4 再生したいファイルを選択し、 リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

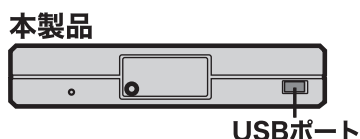
メモ フォルダを選択してリモコンの [再生] ボタンを押すと、フォルダの中のファイルが連続再生されます。

以上でデータの再生は完了です。

USB ポートに接続した機器から再生する

本製品の USB ポートに接続した機器から再生する場合は、以下の手順で行ってください。

⚠注意 ・テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子からの表示ができる状態にしてください。
・ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。

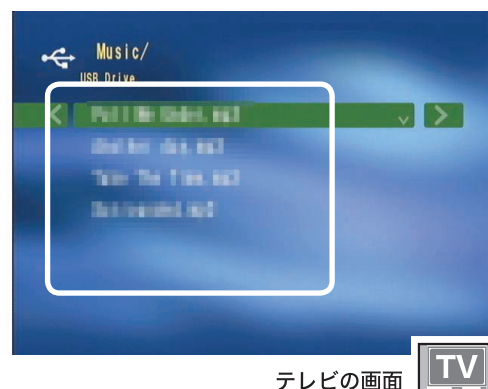
1 本製品の USB ポートに USB ハードディスクまたは USB フラッシュメモリを接続します。

2 テレビに表示されているログイン画面で、[USB Drive] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

3 USB デバイスのボリュームラベルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

4 再生したいファイルやフォルダを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

⚠注意 再生中は USB 機器を抜き差ししないでください。本製品のシステムが、停止または再起動をすることがあります。

以上で USB ポートに接続した機器からの再生は完了です。

リモコンの [設定] ボタンを使う

各選択画面でリモコンの [設定] ボタンを押すと、次の操作を行うことができます。

ログイン画面を表示した状態
[設定] 画面が表示されます。

ビデオのフォルダを選択した状態（BUFFALO MediaServer のみ）	
フォルダの詳細情報	フォルダ名を表示します。
表示順の変更	リスト表示順序（登録順、アルファベット順）を変更します。

ビデオファイルを選択した状態（BUFFALO MediaServer のみ）	
ビデオの詳細情報	ビデオタイトルを表示します。
表示順の変更	リスト表示順序（登録順、アルファベット順）を変更します。

音楽トラックを選択した状態（BUFFALO MediaServer のみ）	
トラックの詳細情報	トラックの詳細情報（ジャンル、アーティスト、アルバム名、タイトル [トラック名]、作成日時、再生時間）を表示します。
選択したトラックの登録	選択したトラックをプレイリスト（またはジャンル、アーティスト、アルバム）に追加します。
トラックの削除	トラックを削除します。

音楽アルバムを選択した状態（BUFFALO MediaServer のみ）	
アルバムの詳細情報	アルバムの詳細情報（ジャンル、アーティスト、タイトル [アルバム名]、作成日時）を表示します。
選択したアルバムの登録	選択したアルバムをプレイリスト（またはジャンル、アーティスト）に追加します。
アルバムの削除	アルバムを削除します。

音楽アーティストを選択した状態（BUFFALO MediaServer のみ）	
アーティストの詳細情報	アーティストの詳細情報(ジャンル、タイトル [アーティスト名])を表示します。
選択したアーティストの登録	選択したアーティストをプレイリスト（またはジャンル）に追加します。
アーティストの削除	アーティストを削除します。

音楽ジャンルを選択した状態（BUFFALO MediaServer のみ）	
ジャンルの詳細情報	ジャンルの詳細情報（タイトル [ジャンル名]）を表示します。
選択したジャンルの登録	選択したジャンルをプレイリストに追加します。
ジャンルの削除	ジャンルを削除します。

音楽プレイリストを選択した状態（BUFFALO MediaServer のみ）	
プレイリストの詳細情報	プレイリストの詳細情報（タイトル、作成日時）を表示します。
新規プレイリストの作成	新しいプレイリストを作成します。
プレイリストの削除	プレイリストを削除します。

写真アルバム（フォルダ）を選択した状態（BUFFALO MediaServer のみ）	
アルバムの詳細情報	アルバム（フォルダ）名を表示します。
表示順の変更	リスト表示順序（アルファベット順、ファイル形式順、登録順）を変更します。

写真ファイルを選択した状態（BUFFALO MediaServer のみ）	
画像の詳細情報	画像の詳細情報（名称、幅、高さ）を表示します。
画像の回転	選択した写真を回転（左回りに回転、右回りに回転、１８０度回転）します。
表示順の変更	リスト表示順序（アルファベット順、ファイル形式順、登録順）を変更します。
アルバムに登録	アルバムに登録します。

アクセス制限を設定する

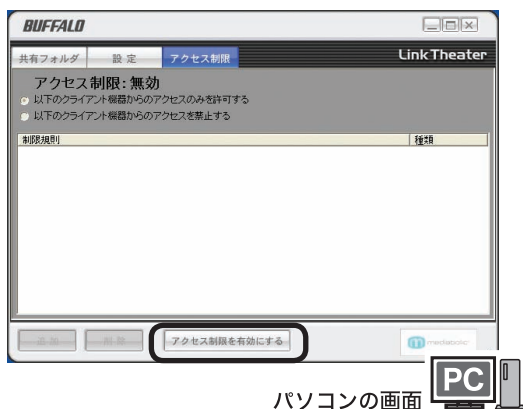
共有化された再生するフォルダにアクセス制限を設定して、指定した条件でしか再生できないようにすることもできます。設定は次のように行います。

1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer]-[BUFFALO メディアサーバ設定]をクリックします。

メモ　Windows Vistaをお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。このようなときは、[続行]をクリックしてください。

2 [アクセス制限]タブをクリックします。

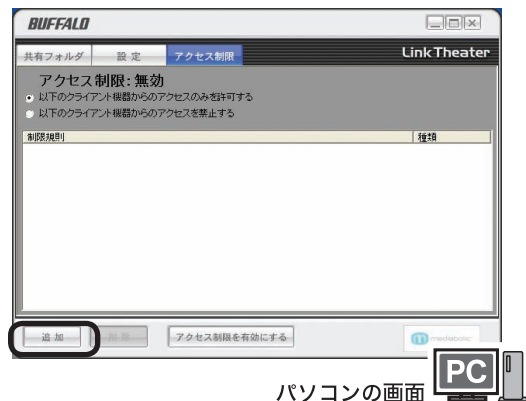
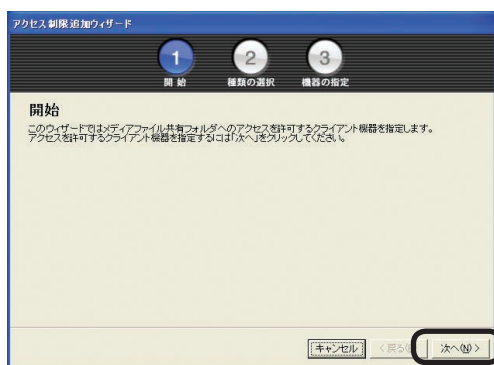
パソコンの画面

3 [アクセス制限を有効にする]をクリックします。

パソコンの画面

4 [以下のクライアント機器からのアクセスのみを許可する]をクリックします。

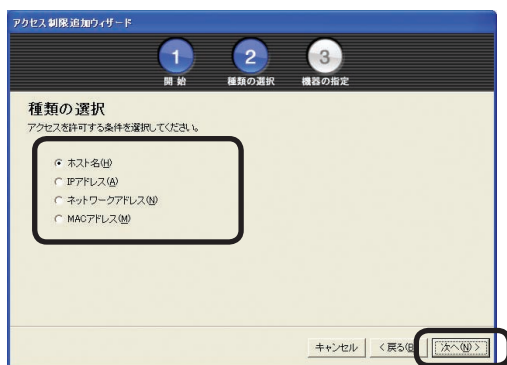
特定の条件を禁止したいときは、[以下のクライアント機器からのアクセスを禁止する]を選択してください。

パソコンの画面

5 [追加]をクリックします。

パソコンの画面

6 [次へ] をクリックします。

パソコンの画面 PC

7 アクセス制限する条件を選択し、[次へ] をクリックします。

制限の条件は、ホスト名、IP アドレス、ネットワークアドレス、MAC アドレス (本製品底面にシールで記載されています) から選択できます。

パソコンの画面 PC

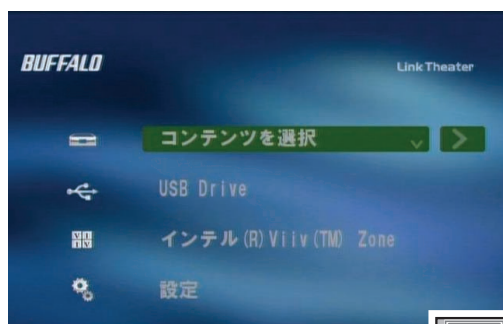
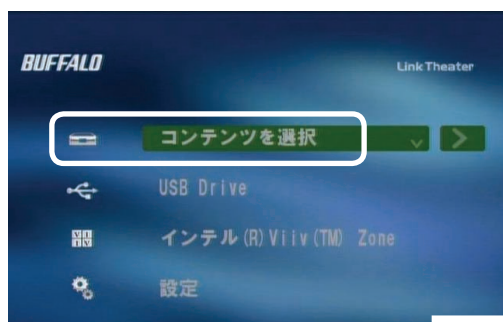
以降は画面の指示にしたがって操作してください。

以上でアクセス制限の設定は完了です。

プレイリストを作る

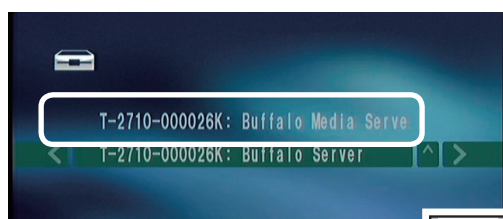
Buffalo Media Server でプレイリストを作ることができます。
新規にプレイリストを作るか、既存のプレイリストに追加するかで、以下の手順が異なります。

新規にプレイリストを作る場合

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面 TV

2 [コンテンツを選択] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

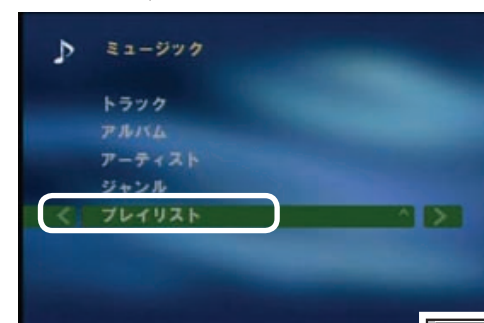
テレビの画面 TV

3 表示されたサーバの一覧から、接続したいサーバを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

メモ　他社製のメディアサーバやサーバ名の末尾に「Buffalo Server」や「LinkStation」、「TeraStation」と表示された弊社製メディアサーバではプレイリストの作成・編集はできません。

4 [ミュージック] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

5 プレイリストを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

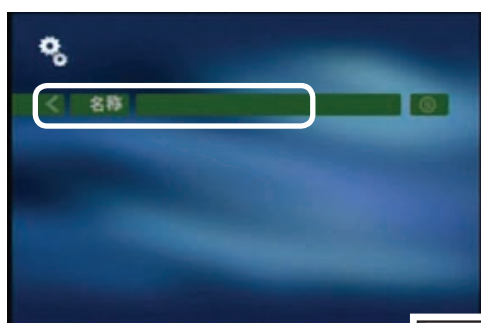
6 リモコンの [設定] ボタンを押します。

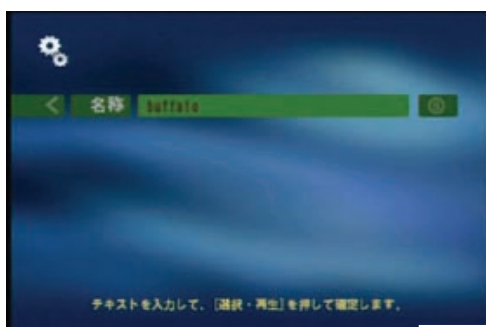
テレビの画面 TV

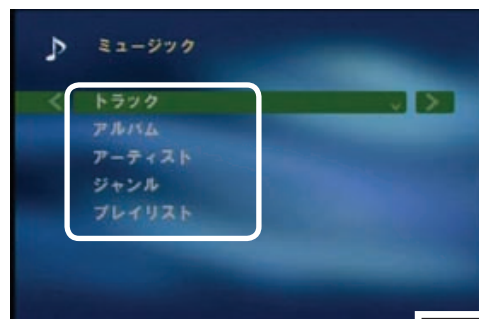
7 [新規プレイリストの作成] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

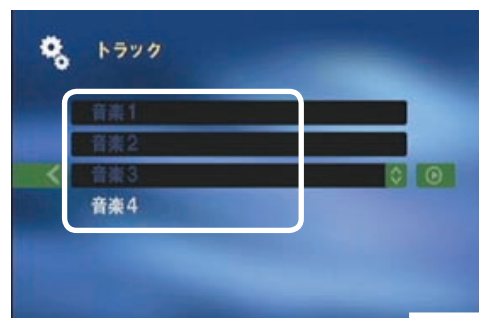
8 リモコンの [再生・選択] ボタンを押して名称を入力します。

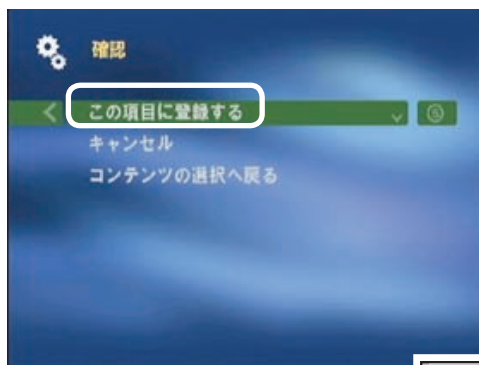
メモ 名称は、テンキーで入力できます。同じボタンを連続して押すことで文字を切り替えることができます。ただし、日本語の入力はできません。

テレビの画面 TV

9 プレイリスト名を入力し、リモコンの [再生・選択] ボタンを押して確定します。方向キー▶ボタンを押してプレイリストに追加するコンテンツの選択に移動します。

テレビの画面 TV

10 トラック、アルバム、アーティスト、ジャンル、プレイリストの各項目からプレイリストに追加するコンテンツを選択できます。

テレビの画面 TV

11 プレイリストに追加するコンテンツを [再生・選択] ボタンで選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押して確定します。

メモ ［プレイリスト］は選択できません。

テレビの画面 TV

12 [この項目に登録する] を選択し、リモコンの [再生・選択] ボタンを押すとプレイリストが作成されます。

テレビの画面 TV

以上で新規のプレイリスト作成は完了です。

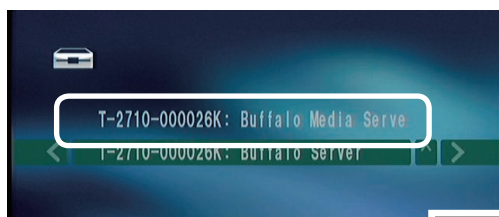
既存のプレイリストに追加登録する場合

1 **本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。**

テレビの画面 TV

2 **[コンテンツを選択] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。**

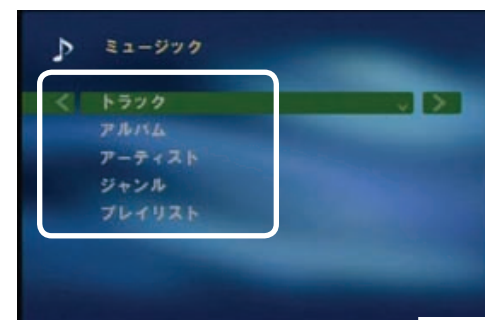
テレビの画面 TV

3 **表示されたサーバの一覧から、接続したいサーバを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。**

テレビの画面 TV

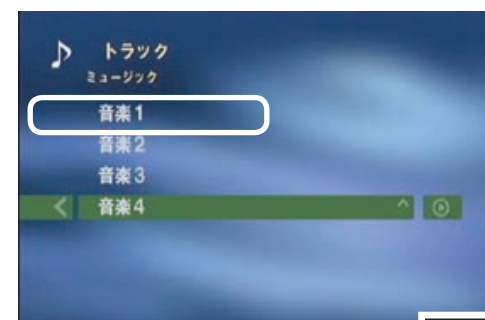
メモ　他社製のメディアサーバやサーバ名の末尾に「Buffalo Server」や「LinkStation」、「TeraStation」と表示された弊社製メディアサーバではプレイリストの作成・編集はできません。

4 **[ミュージック] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。**

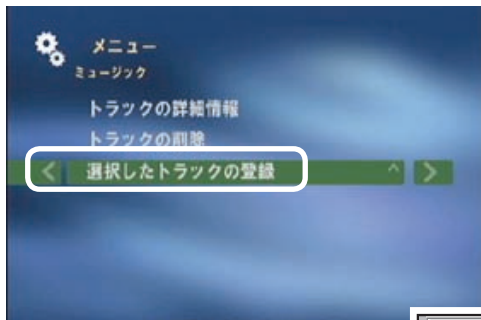
テレビの画面 TV

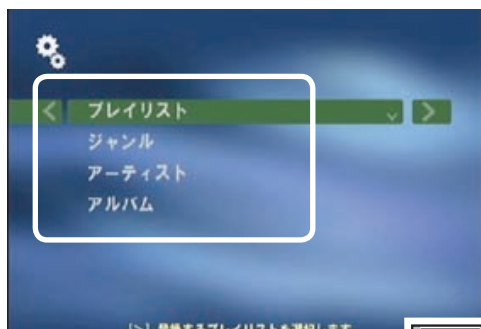
5 **トラック、アルバム、アーティスト、ジャンル、プレイリストの各項目からプレイリストに追加するコンテンツを選択できます。**

テレビの画面 TV

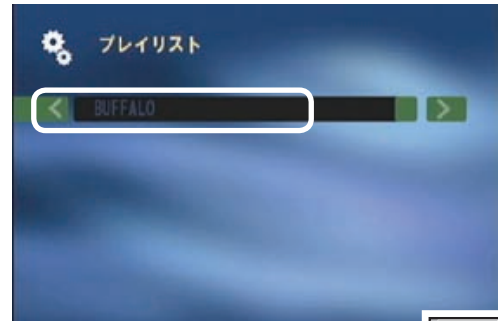
6 **一覧からプレイリストに登録したいコンテンツを選択し、[設定] ボタンを押します。**

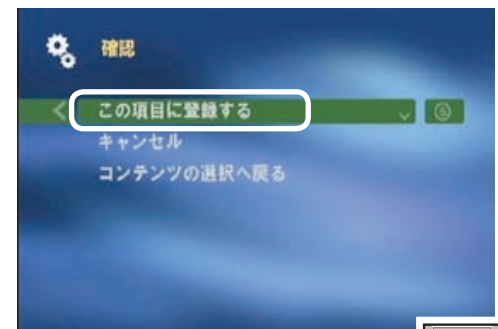
メモ　トラック、アルバム、アーティスト、ジャンルをそれぞれ登録できます。

テレビの画面 TV

7 **[選択したトラックの登録] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押して確定します。**

メモ 対象の名前「選択した○○」は、選択したコンテンツによって変わります。

テレビの画面

8 **登録先の種別を選択します。種別はプレイリスト、ジャンル、アーティスト、アルバムの中から選択できます。リモコンの方向キー▶ボタンを押して次へ進みます。**

テレビの画面

9 **登録先を選択 (複数選択可) し、リモコンの [再生・選択] ボタンを押します。リモコンの方向キー▶ボタンを押して次へ進みます。**

テレビの画面

10 **[この項目に登録する] を選択し、リモコンの [再生・選択] ボタンを押すと選択したトラックがプレイリストに追加されます。**

テレビの画面

以上でプレイリストの追加登録は完了です。

DLNA 対応メディアサーバのデータを再生する

DLNA(Digital Living Network Alliance) について

DLNA（デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス）は、デジタル機器 (パソコン・家電・モバイル機器など) の相互接続環境を実現するために業界標準技術の製品設計ガイドライン「ホーム・ネットワーク・デバイス・インターオペラビリティ・ガイドライン」を定めています。

本製品は、DLNA 対応メディアサーバ (弊社製 LinkStation HS-DGL/DTGL/DHGL/DHTGL シリーズなど) のデータを再生することができます。
LinkTheater のサーバ選択画面で、DLNA 対応メディアサーバを選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P6「データをテレビで再生する」と同様です。

DLNA 対応メディアサーバのデータを再生するには、メディアサーバの設定画面でメディアサーバ機能を有効にしてください。設定方法については、メディアサーバのマニュアルをご参照ください。

Windows Media Connect サーバのデータを再生する

Windows Media Connect について

Windows XP で Microsoft Windows Media Connect をインストールすると、パソコンに保存している音楽、写真、ビデオを、UPnP プロトコルを使用して本製品で再生することができるようになります。
Windows Mdedia Connect は、Windows Update([カスタムインストール]-[ソフトウェア用の更新プログラムを追加で選択]) よりインストールすることができます。

本製品は、Windows Media Connect がインストールされた Windows XP パソコンのデータを再生することができます。
LinkTheater のサーバ選択画面で、Windows Media Connect サーバを選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P6「データをテレビで再生する」と同様です。

Windows Media DRM で著作権管理されたコンテンツを再生する

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM) について

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM) は、コンピュータ、デジタル オーディオ プレーヤー、またはネットワークデバイスで再生する場合、コンテンツを保護し、安全に配信するプラットフォームです。

Windows Media DRM は、Windows Media Connect サーバと付属の BUFFALO メディアサーバに対応しています。
LinkTheater のサーバ選択画面で、Windows Media DRM に対応しているサーバを選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P6「データをテレビで再生する」と同様です。
※ Windows Media Player は最新のバージョンをお使いください。
※サーバとなるパソコンであらかじめ再生し、ライセンスを取得しておく必要があります。
※ Windows 2000 には対応していません。
※ DRM の保護レベルによっては、再生できないことがあります。
※ビデオ出力は 480i となります。

⚠注意 **D 端子をコンポーネントに変換して出力している場合、解像度が 480i に変更された際に画面が表示されなくなる場合があります。このようなときは、テレビの表示解像度を 480i に変更してください。設定方法については、テレビのマニュアルをご参照ください。**

詳細設定

本製品の詳しい設定のしかたについて説明しています。

本製品の詳細設定

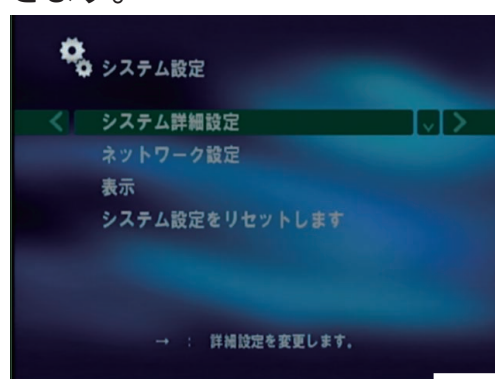
本製品の詳細設定を説明します。

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面 TV

2 [設定] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 各項目の詳細設定を行うことができます。

テレビの画面 TV

- **システム詳細設定**

  [メディアプレイヤー][バージョン] では、メディアプレイヤーの名称やバージョン、シリアル番号を知ることができます。また [バージョン]-[ソフトウェアアップデート] では、本製品のファームウェアをアップデートすることができます (本製品がインターネットに接続されている必要があります)。

  [スクリーンセーバ] では、何も操作しなかったときにテレビ画面にスクリーンセーバを起動する時間 (15 秒〜 10 分) を設定できます。

  [写真表示間隔]　では、写真ファイルをテレビ画面に表示する時間 (3 秒〜 2 分) を設定できます。

• **ネットワーク設定 (PC-P4LAN)**

[ご使用になるネットワークの状態] では、本製品が接続されているネットワークの状態を表示します。

[新しいプロフィールを作成します] では、新しいネットワークへの接続を作成します。

自動取得 (DHCP)：ネットワーク内に DHCP サーバがある場合に自動的に IP アドレスを割り当てます。

手動設定：手動で、IP アドレス、サブネットマスクを入力することもできます。

[プロフィールを修正します] では、作成したプロフィールの設定を変更します。

[プロフィールに接続します] では、作成したプロフィールを選択して接続します。

[プロフィールを削除します] では、作成したプロフィールを削除します。

[プロフィールの起動順番] では、プロフィールの起動する順番を指定します。

[プロキシ設定] では、プロキシサーバの IP アドレス、ポートを指定します。

• **ネットワーク設定 (PC-P4LWAG)**

[ご使用になるネットワークの状態] では、本製品が接続されているネットワークの状態を表示します。

[新しいプロフィールを作成します] では、新しいネットワークへの接続を作成します。

有線：LAN ケーブルで本製品をネットワーク内に接続したいときに選択します。

無線：無線で本製品を AirStation に接続したいときに選択します。

AirStation の SSID、認証のタイプ、暗号キーを入力します。

SSID：接続したい AirStation の SSID を入力します。

認証のタイプ：AirStation の認証方式を［オープンシステム認証、共通キー認証、WPA Personal 認証］から選択します。

キー：使用したい暗号化方式にあわせて暗号化キーを入力します。

共通キー認証 (WEP64bit)　5 文字の英数字記号もしくは 10 桁の数字または「A ～ F」までの英字で 入力してください。

共通キー認証 (WEP128bit)　13 文字の英数字記号もしくは 26 桁の数字または「A ～ F」までの英字 で入力してください。

WPA Personal(TKIP または AES)　8 ～ 63 文字の英数字記号もしくは 64 桁の数字または 「A ～ F」までの英字で入力してください。

⚠注意　本製品と AirStation を AOSS で接続後、その他の機器が AOSS で接続するとセキュリティレベルが変化し、本製品からサーバーが見えなくなることがあります。このようなときは、再度 AOSS で本製品と AirStation を接続してください。

自動接続 (DHCP サーバ)：ネットワーク内に DHCP サーバがある場合に自動的に IP アドレスを割り当てます。

手動で IP アドレスを入力します：手動で、IP アドレス、サブネットマスクを入力することもできます。

[プロフィールを修正します] では、作成したプロフィールの設定を変更します。

[プロフィールに接続します] では、作成したプロフィールを選択して接続します。

[プロフィールを削除します] では、作成したプロフィールを削除します。

[プロフィールの起動順番] では、プロフィールの起動する順番を指定します。

[プロキシ設定] では、プロキシサーバの IP アドレス、ポートを指定します。

- **表示**

［モード］では、ビデオ出力先・表示解像度・表示画面の縦：横の比率を指定します。

コンポジット　480i　4x3

コンポーネント　480i　4x3

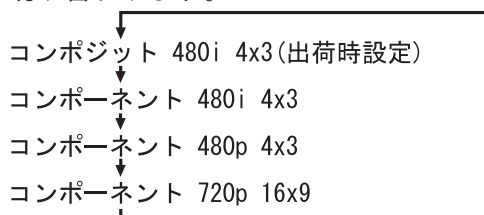
コンポーネント　480p　4x3

コンポーネント　720p　16x9

※指定したモードで 10 秒間ビデオ出力が行われます。その間にリモコンの［0］ボタンを押して決定してください。決定されない場合は指定前のモードに戻ってビデオ出力を行います。

※コンポジットビデオ出力端子や S ビデオ出力端子から出力した場合は、[コンポジット] を選択してください。D 端子から出力したい場合は、[コンポーネント] を選択してください。

※リモコンの [出力切替] ボタンを押すことでも、モードを切り替えることができます。この場合、押すごとに以下のように切り替わります。

コンポジット 480i 4x3（出荷時設定）
↓
コンポーネント 480i 4x3
↓
コンポーネント 480p 4x3
↓
コンポーネント 720p 16x9

⚠注意　**ビデオファイルの再生中は、リモコンで出力切替を行うことはできません。**

- **システム設定をリセットします**

本製品を出荷時設定に戻します。

メディアサーバの設定

メディアサーバの設定を行います。本製品で再生できるフォルダの登録、アクセス制限を設定することができます。[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer]-[BUFFALO メディアサーバ設定]をクリックすることで設定画面を表示できます。

共有フォルダ画面

パソコンの画面

- **追加**

  再生したいファイルがあるフォルダを登録します。

- **削除**

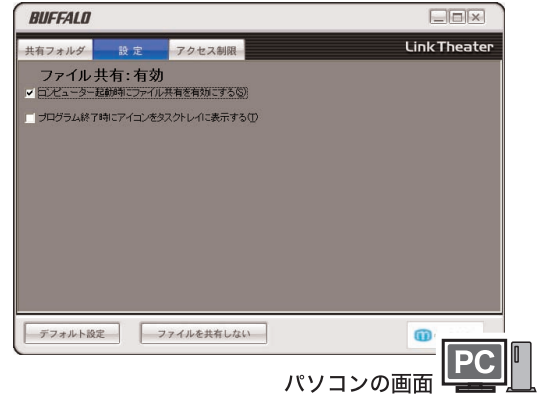
  フォルダを選択し、[削除]をクリックすると、共有フォルダの登録が解除されます。

- **更新**

  共有フォルダ、およびファイルの表示が更新されます。

- **自動検索**

  自動検索ウィザードが起動します。パソコン内の動画、音声、画像ファイルが保存されているフォルダをウィザードにしたがって共有フォルダとして登録することができます。

設定画面

パソコンの画面

- **コンピューター起動時にファイル共有を有効にする**

  パソコン起動時にファイル共有が有効になるよう設定します。

- **プログラム終了時にアイコンをタスクトレイに表示する**

  「メディアサーバの設定」終了時にタスクトレイにアイコンを表示するようにします。

- **デフォルト設定**

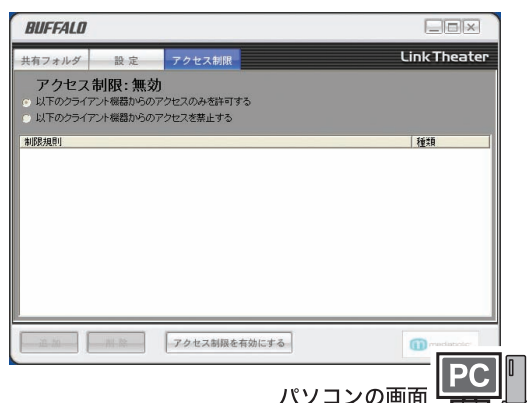
  メディアサーバの設定を初期設定に戻します。

- **ファイルを共有しない**

  ファイル共有を無効にします。

- **ファイルを共有する**

  ファイル共有を有効にします。

アクセス制限画面

パソコンの画面 PC

- **アクセス制限を有効にする**

  アクセス制限を有効にします。すでに有効になっているときには表示されません。

- **アクセス制限を無効にする**

  アクセス制限を無効にします。すでに無効になっているときには表示されません。

- **以下のクライアント機器からのみアクセスを許可する**

  [制限規則] に表示された条件からのアクセスのみ許可します。

  アクセス制限が無効のときは選択できません。

- **以下のクライアント機器からのアクセスを禁止する**

  [制限規則] に表示された条件からのアクセスを禁止します。

  アクセス制限が無効のときは選択できません。

- **追加**

  アクセス制限追加ウィザードを起動します。

  許可 / 禁止する条件 (ホスト名、IP アドレス、ネットワークアドレス、MAC アドレス) をウィザードにしたがって設定できます。

  アクセス制限が無効のときは選択できません。

- **削除**

  [制限規則] に表示された条件を選択し、[削除] をクリックすると条件を削除することができます。

付録

ルータの無い環境での手動設定手順、ファームウェアのアップデート方法、LinkStation のデータを再生する方法、困ったときは、仕様について説明しています。

ルータをお持ちでない方へ（IP アドレスを手動で設定する手順）

ここでは、パソコンの IP アドレスを確認し、本製品の IP アドレスを手動で設定する手順を説明します。付属ソフトをインストールしたパソコンを認識しないときや、インターネットをお使いの環境でルータを使用していない（DHCP サーバ機能がない）場合のみ行ってください。

メモ　画面で表示される数字や文字はお使いの環境によって異なります。

パソコンの IP アドレスを確認する

1 以下のメニューをクリックして、コマンドプロンプトを起動します。

[スタート] ─ [(すべての) プログラム] ─ [アクセサリ] ─ [コマンドプロンプト] を選択します。

2 画面に「C:¥>」と表示されます。「IPCONFIG /ALL」と入力し、<ENTER> キーを押します。

3 「IP Address(IPv4 アドレス)」欄と「Subnet Mask(サブネットマスク)」欄に、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。

```
C:¥>IPCONFIG /ALL
Ethernet adapter ローカルエリア接続
IP address                              : 192.168.11.2
Subnet Mask                             : 255.255.255.0
Connection-specific DNS Suffix    :
Description                             : BUFFALO LGY-PCI-TXD Ethernet Adapter
Physical Address                        :
DHCP Enabled                            : Yes
Default Gateway                         : 192.168.0.1
DNS Servers                             : 192.168.0.1
```

確認

以上でパソコンの IP アドレス確認は完了です。
続いて P23 の手順で本製品の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
本製品に設定する IP アドレスやサブネットマスクの値は、P22 の「本製品に設定する IP アドレスの値は？」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。

本製品に設定する IP アドレスの値は？

本製品の IP アドレスには、以下のような値を設定します。

パソコンの IP アドレス

192.168.11.2　の場合

本製品の IP アドレス

192.168.11.12　に設定します。

同じ値にする

1 ～ 254 の数字でパソコンと違う値にする

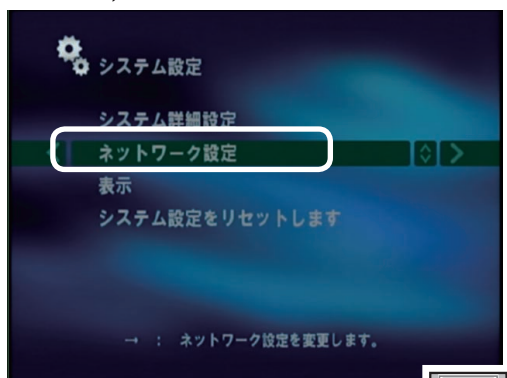
本製品の IP アドレスを設定する

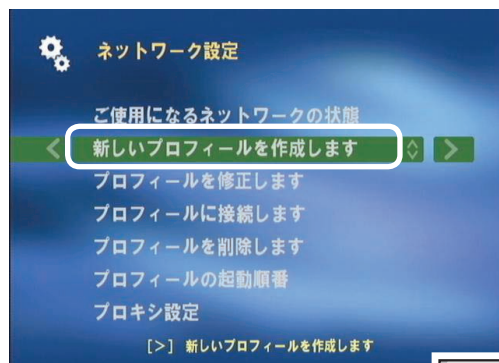
1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面

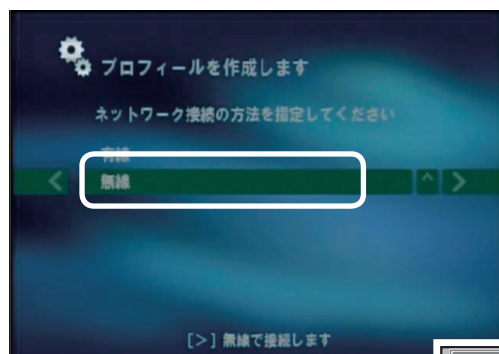
2 [設定] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

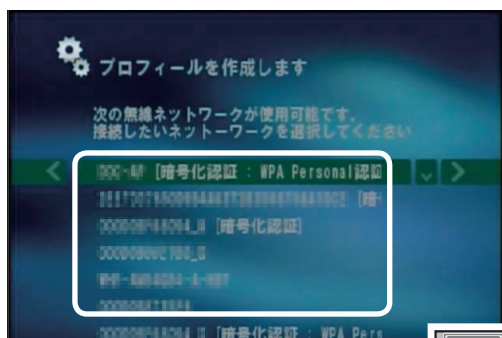
3 [ネットワーク設定] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

4 [新しいプロフィールを作成します] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

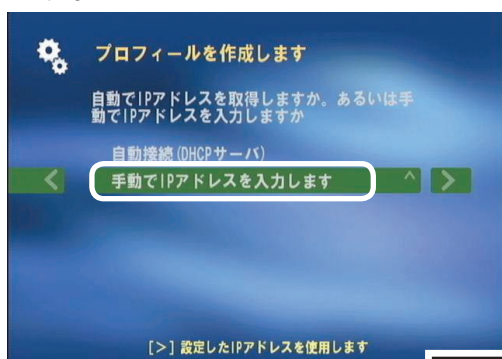
メモ PC-P4LAN をお使いの方は、手順 7 におすすみください。手順 5~6 は PC-P4LWAG の画面です。

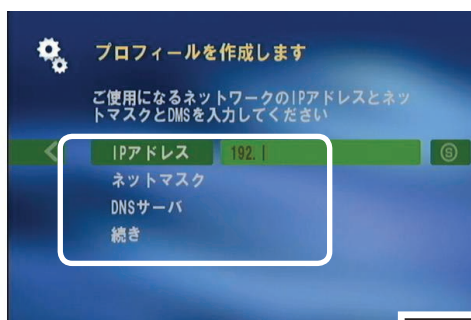
5 [無線] を選択し、方向キー▶ボタンを押します (PC-P4LWAG のみ)。

テレビの画面

⚠注意 [有線] を選択した場合は、手順 6 は表示されません。手順 7 へおすすみください。

6 [表示されたリストから接続したい AirStation を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

⚠注意 AirStation にセキュリティが設定されている場合は、セキュリティキーを入力し、[選択・再生] ボタンを押します。

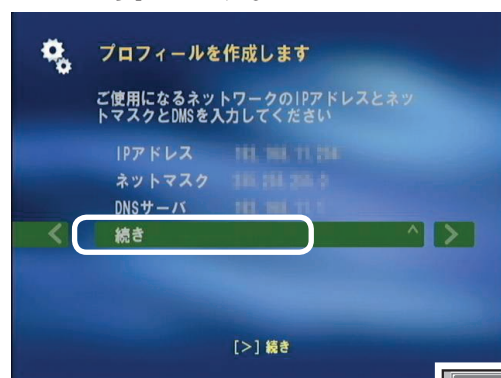
7 [手動で IP アドレスを入力します] 選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

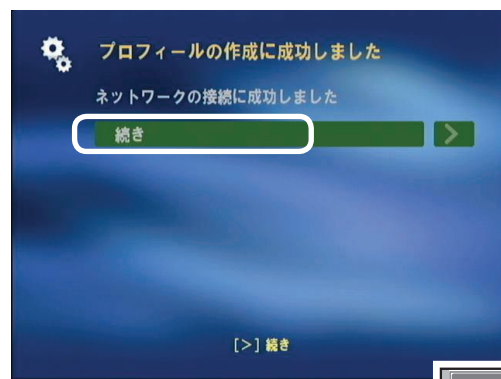
8 IP アドレスとサブネットマスクを入力し、[選択・再生] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

⚠注意 IP アドレスがパソコンの値と重複しないようにしてください。設定する値が分からないときは、P22 の「本製品に設定する IP アドレスの値は ?」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は ?」を参照してください。

例： パソコンの IP アドレスが「192.168.11.2」サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、本製品の IP アドレスは「192.168.11.12」サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定します。

メモ IP アドレス、サブネットマスク、DNS サーバは、リモコンのテンキーで入力します。「.（ピリオド）」は、[1] ボタンを 2 回連続して押すことで入力できます。

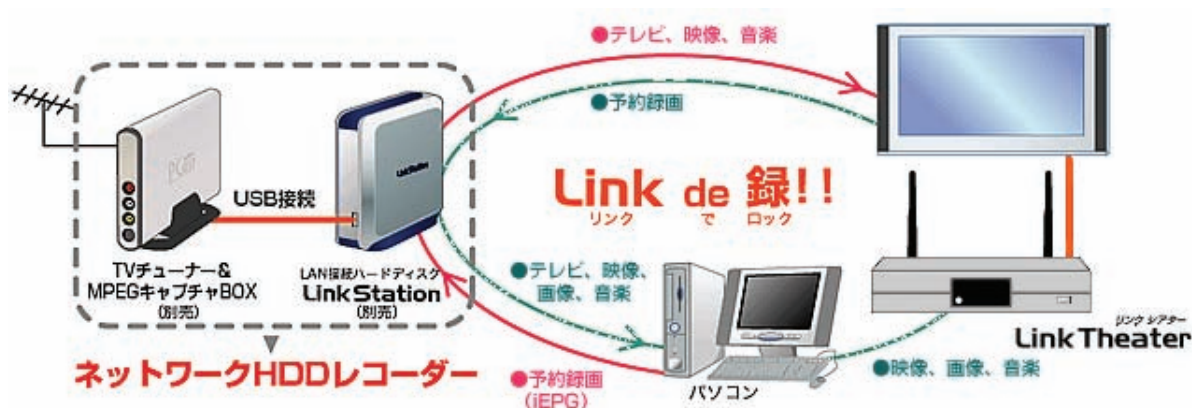
9 [続き] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

10 [続き] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

以上で本製品の IP アドレスの設定は完了です。

「Link de 録 !!」でお使いになるには

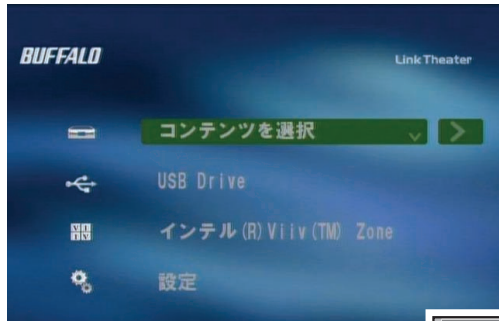
「Link de 録 !!」とは、別売の USB キャプチャ BOX と LinkStation および TeraStation(以降、本書では合わせて LinkStation と表記します) を組み合わせて、パソコンを使わずにテレビ番組を録画するのが「Link de 録 !!」システムです。
本製品を使うと DLNA 対応のホームサーバモデル LinkStation(HS-DGL/HS-DTGL/DHGL/DHTGL シリーズ) を使った「Link de 録！！」で録り貯めたテレビ番組を再生したり、テレビ画面からリモコン操作で録画予約の設定ができます。

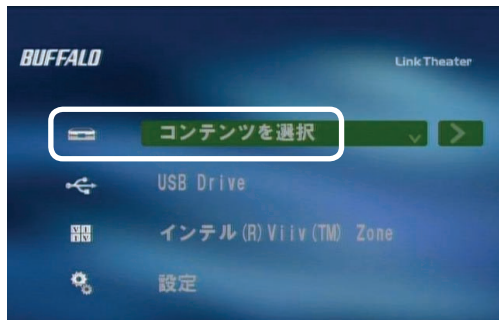
⚠注意 HD-HLAN、HD-HGLAN、HD-HTGL シリーズを使った「Link de 録 !!」で撮り貯めたテレビ番組を再生したい場合は、お使いの LinkStation をメディアサーバにネットワークドライブのフォルダとして追加することでお楽しみ頂けます。

※イラストは PC-P4LWAG の例です。

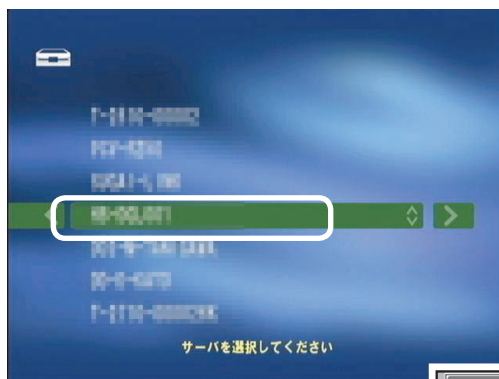
LinkStation・USB キャプチャ BOX の取り付けと初期設定

LinkStation に USB キャプチャ BOX を取り付けて、LinkStation の設定画面で [メディアアサーバ機能] を [使用する] に設定してください。詳しい手順は USB キャプチャ BOX に付属の「LinkStation に接続して使用するには」をご参照ください。

「Link de 録 !!」サーバの選択

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面 TV

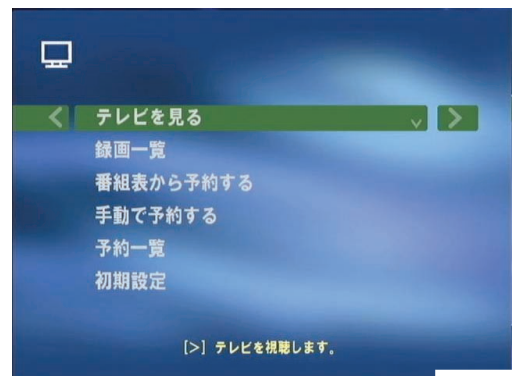
2 [コンテンツを選択] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 表示されたサーバの一覧から、接続したいサーバを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

⚠注意 「Link de 録 !!」対応の LinkStation/TeraStation を選択してください。サーバ名末尾に「LinkStation」、「TeraStation」と表示されているサーバでは、「Link de 録 !!」を利用することができません。

4 [Link de 録 !!] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

5 [Link de 録 !!] のトップ画面が表示されます。

テレビの画面 TV

以上でサーバの選択、「Link de 録 !!」トップ画面の表示は完了です。

テレビを見る

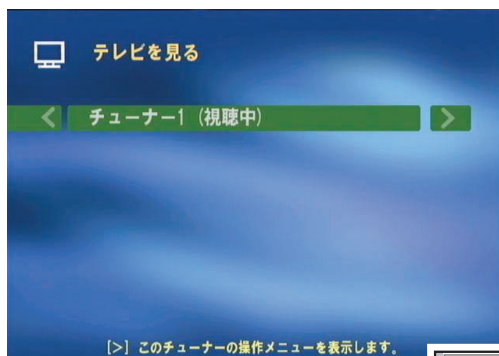
テレビを視聴や録画、追っかけ再生などの操作をしたいときは次のようにしてください。

リモコン操作表

テレビを視聴しているとき、追っかけ再生をしているときのできるリモコン操作は次の通りです。

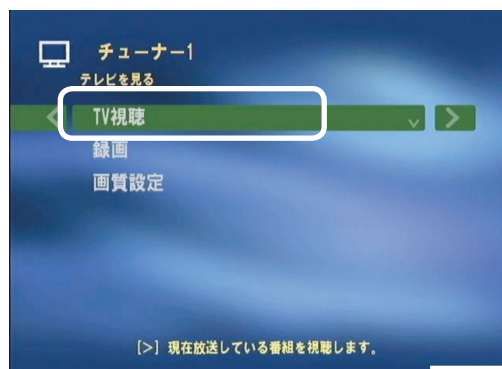
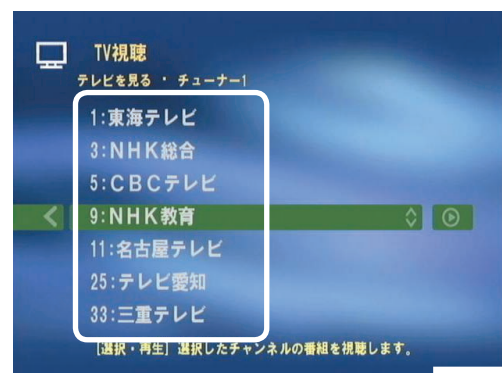
画面	ボタン	操作
TV 視聴中	左、停止	TV 視聴を停止します。
	トラック前、トラック次	チャンネルを切り替えます。
	テンキーボタン	チャンネル番号を入力してチャンネルを切り替えます。 ※ C13 〜 C63 は最初に 0 を入力してください。
TV 視聴中 (他クライアント)	左、停止	TV 視聴を停止します。
追っかけ再生中	左、停止	追っかけ再生を停止します。
	一時停止	追っかけ再生を一時停止します。
	早送り、巻き戻し	再生のスピードを切り替えます。
	コマ送り	再生中はスロー再生します。一時停止中は、コマ送りします。
共通	VOL ＋、VOL －、ミュート	ボリュームを調整します。
	情報表示、詳細	再生中のチャンネルを表示します。
	音声切替	音声を切り替えます。（ステレオ、メイン、サブ）

チューナーの状態表示

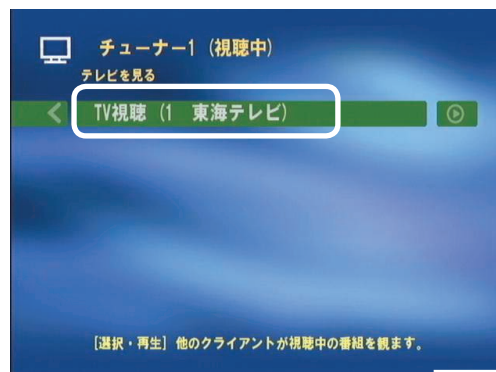
LinkStation に接続された、TV キャプチャ BOX（１〜４）の現在の状態を表示します。状態表示は「チューナー」の文字の右に表示されます。TV キャプチャ BOX の状態により、操作できる内容が変わります。

テレビの画面 TV

状態表示	詳細	操作
（表示なし）	チューナーが待機中であることを示します。	TV の視聴、録画、チューナーの画質設定を行うことができます。
視聴中	他のクライアント（PC-P4 シリーズ、PC-P3 シリーズ、PC-P2 シリーズ、PCastLink）がすでに TV を視聴している状態であることを示します。	他のクライアントで視聴中の番組を視聴することができます。チャンネルの変更はできません
録画中 予約録画中	チューナーが録画中または予約録画中であることを示します。	録画中または予約録画中の番組を追っかけ再生することができます。録画を停止することができます。
停止処理中	チューナーが視聴または録画停止処理をしていることを示します。	チューナーの操作はできません。
チャンネルスキャン中	チャンネルの自動スキャンをしている状態を示します。	チューナーの操作はできません。
エラー / その他	チューナーに障害が発生している状態を示します。	チューナーの操作はできません。

TV 視聴

待機中のチューナーを選択し、操作メニューを表示後、[TV 視聴] を選択します。
視聴したいチャンネルを選択すると、TV 視聴を開始します。
TV 視聴中は、リモコンの [トラック前] ボタン、または [トラック次] ボタンで視聴中のチャンネルを切り替えることができます。

テレビの画面 TV

テレビの画面 TV

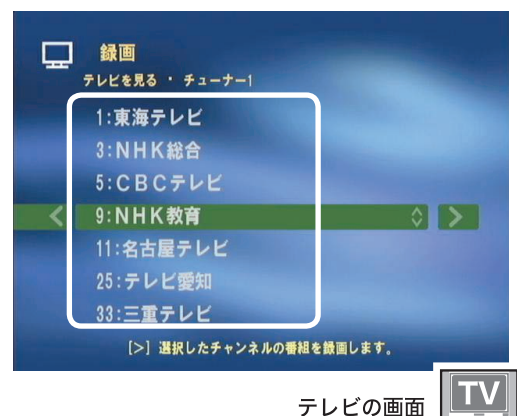
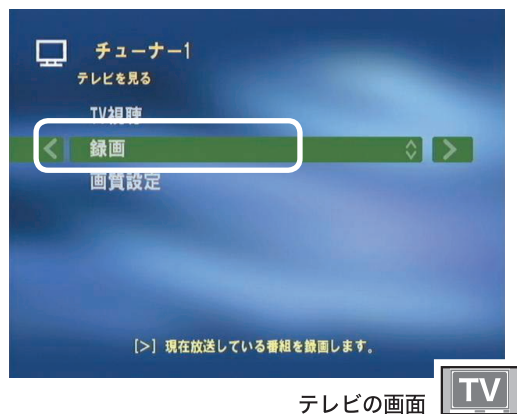
他クライアントが視聴中の TV 視聴

視聴中のチューナーを選択し、[TV 視聴] を選択すると、他クライアントが視聴している番組を視聴できます。チャンネルを切り替えることはできません。

テレビの画面 TV

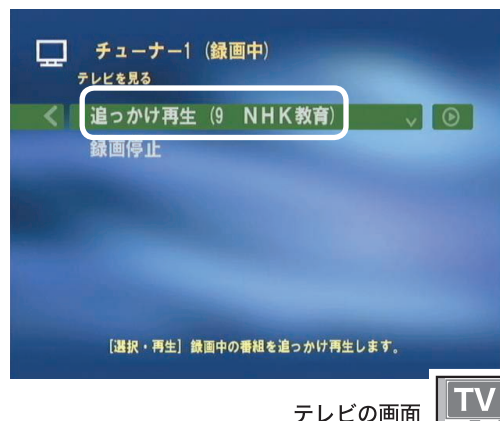
録画

待機中のチューナーを選択し、操作メニューを表示後、[録画] を選択します。
録画したいチャンネルを選択すると、TV 録画を開始します。

テレビの画面

テレビの画面

追っかけ再生

録画中または予約録画中のチューナーを選択し、[追っかけ再生] を選択すると、録画中の番組を追っかけ再生することができます。
追っかけ再生は常に先頭から再生されます。
[録画停止] を選択すると、録画を停止します。

テレビの画面

画質設定

TV 視聴、録画の画質を設定することができます。
【P32】

メモ 本製品では “MPEG4” 形式で圧縮されたデータを再生することができません。TV 視聴、追っかけ再生時に画面が表示されない場合は、録画形式を “MPEG2” 形式に設定する必要があります。

録画一覧

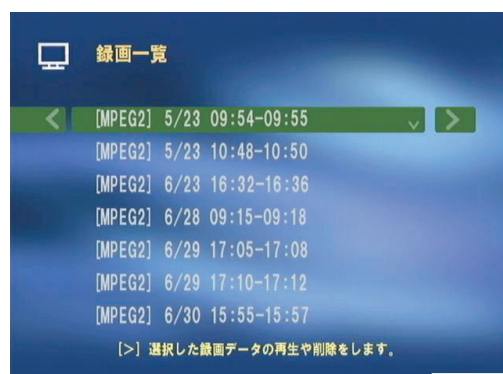
録画した映像を再生したり、削除したいときは次のようにしてください。

リモコン操作表

録画した映像を再生しているときのできるリモコン操作は次の通りです。

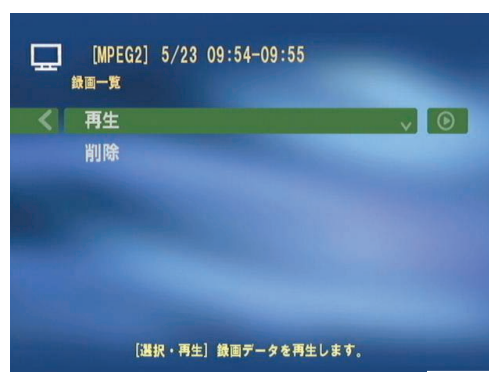
画面	ボタン	操作
再生中	左、停止	再生を停止します。
	トラック前、トラック次	再生中の録画番組を切り替えます。
	早送り、巻き戻し	再生のスピードを切り替えます。
	コマ送り	再生中はスロー再生します。 一時停止中は、コマ送りします。
	一時停止	再生を一時停止します。
	VOL ＋、VOL －、ミュート	ボリュームを調整します。
	情報表示、詳細	再生中のチャンネルを表示します。
	音声切替	音声を切り替え（ステレオ、メイン、サブ）ます。

録画一覧表示

録画された番組の一覧を表示します。
[録画形式] [日付] [番組タイトル] を表示します。

テレビの画面 TV

再生・削除

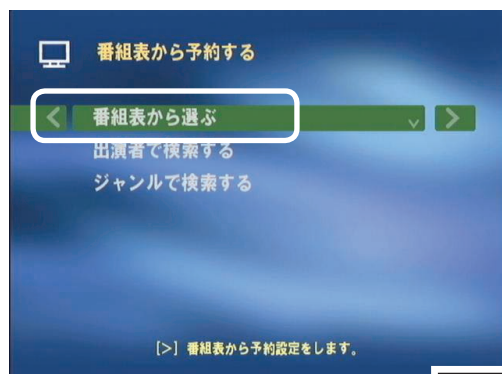
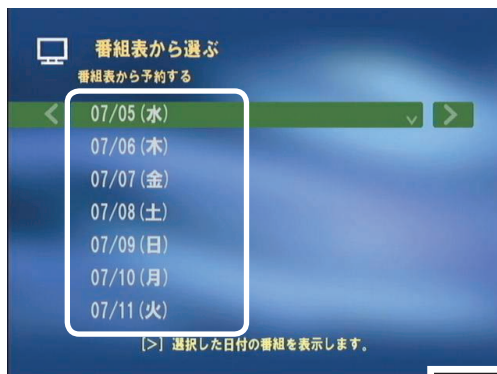
番組を選択し、操作メニューを表示後、[再生] または [削除] を選択します。
再生中は、[トラック前]、[トラック次] ボタンで再生している番組を切り替えることができます。

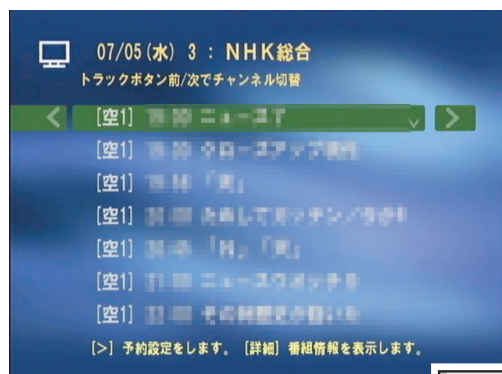
メモ　本製品では MPEG4 形式の動画データの再生をサポートしていないため、MPEG4 形式で録画された番組には、再生メニューが表示されません。また、“トラック” ボタンによる操作時もスキップされます。

テレビの画面 TV

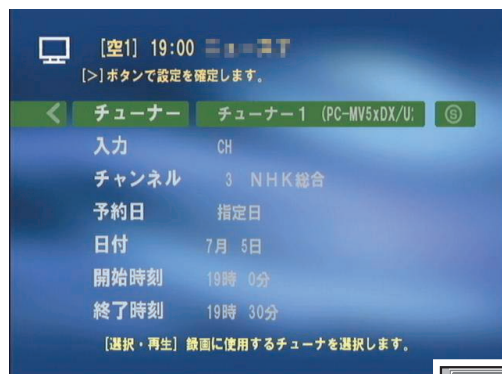
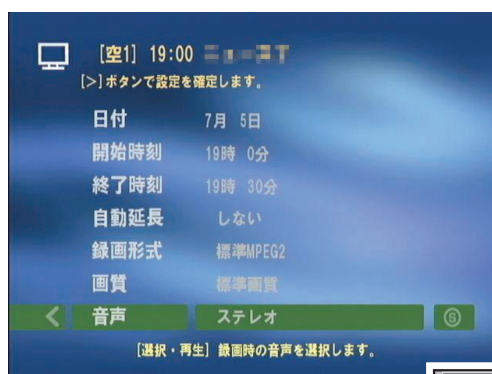
番組表から予約する

EPG 番組表を使って録画予約したいときは次のようにしてください。

番組表から予約する

ここでは、日時から番組表を選択し録画予約する手順を例に説明しています。ほかに出演者名やジャンルで検索することもできます。

テレビの画面 TV

テレビの画面 TV

番組の選択：表示されている番組を選択し、予約を登録画面を表示します。
[トラック前]、[トラック次] ボタンで表示されているチャンネルを切り替えることができます。
[空 1] の 1 はその時間帯で予約登録可能なチューナーの数です。
[空 0] と表示されている番組は、空いているチューナーがないため予約登録できません。

テレビの画面 TV

番組の予約：予約内容を確認し、予約を登録します。
設定内容を変更したい場合は、変更したい項目にカーソルを合わせ、[選択・再生] ボタンを押して編集します。
予約登録をするときは、▶ ボタンを押します。
予約登録をしないときは、◀ ボタンを押してリストに戻ります。

テレビの画面 TV

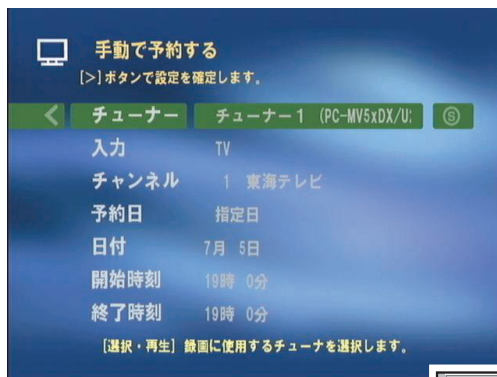
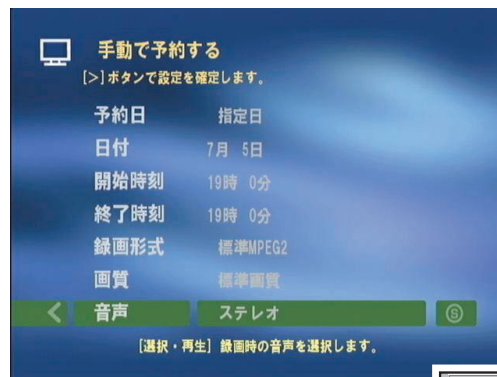
テレビの画面 TV

詳細画面：[情報表示] ボタンを押して、番組の詳細を表示します。

設定項目	設定内容	設定詳細
チューナー	チューナー番号 1 ～ 4	予約録画を行うチューナーを選択します。
入力	CH(もしくは TV)：アナログ入力 ビデオ：コンポジット入力 S 端子：S 端子入力	予約録画を行う番組の入力設定を選択します。
チャンネル	チャンネル番号	入力が" CH：アナログ入力" の場合に、録画するチャンネル番号を選択します。 入力が" CH：アナログ入力" 以外の場合、特に設定する必要はありません。
予約日	指定日：登録した日付に予約します 毎日：登録した日から毎日指定時刻に予約します 毎週：登録した曜日から毎週指定時刻に予約します。 月～金：毎週月曜日から金曜日に指定時刻に予約します。 月～土：毎週月曜日から土曜日に指定時刻に予約します。 火～土：毎週火曜日から土曜日に指定時刻に予約します。 火～日：毎週火曜日から日曜日に指定時刻に予約します。	予約の種類、連続予約の有無を設定します。
日付	指定日付	予約録画を行う日付を設定します。予約日が指定日、毎週の場合に有効となります。それ以外の予約日の場合、特に設定する必要はありません。
開始 / 終了時刻	時間、分	指定の時間、分を設定します。設定したい内容は、" 左右" ボタンで切り替えることができます。
自動延長	する / しない	録画の自動延長機能を利用する / しないを選択します。 自動延長の必要がない番組では、" する" は選択できません。
録画形式	MPEG2/MPEG4	録画する形式を選択します。 MPEG4 形式は、PC-MV7x/U2 シリーズ (PC-MV71DX/U2 など) のみ有効です。 ※本製品では、MPEG4 形式で録画された番組は再生できません。
画質	高画質 / 標準画質 / 低画質 /ST 画質	録画する番組の品質を設定します。
音声	ステレオ / 主音声 / 副音声 / 主＋副音声	録画する番組の音声モードを設定します。

手動で予約する

手動で予約したいときは次のようにしてください。

設定内容を変更したい場合は、変更したい項目にカーソルを合わせ、[選択・再生] ボタンを押します。
予約登録をするときは、▶ボタンを押します。
予約登録をしないときは、◀ ボタンを押して、リストに戻ります。

テレビの画面

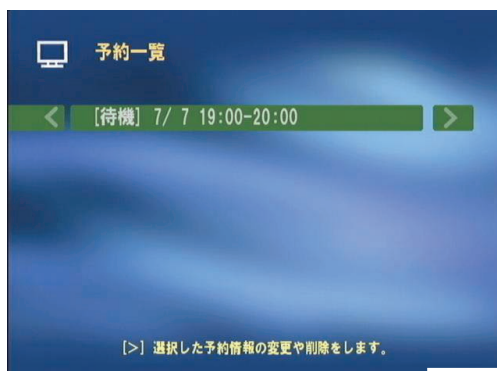
テレビの画面

設定項目の詳細については、32 ページをご参照ください。

予約一覧

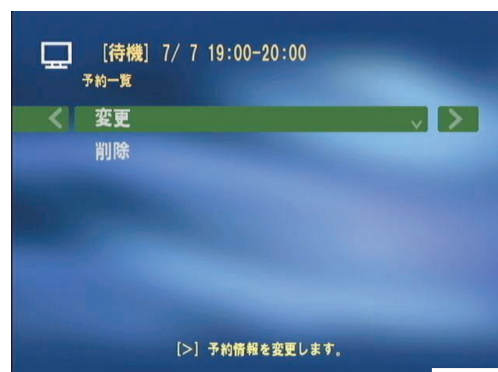
予約一覧から予約を変更、削除したいときは次のようにしてください。

予約一覧

予約している番組の一覧を表示します。
- [待機]：予約録画の待機中です。
- [録画]：予約録画中です。
- [失敗]：予約録画に失敗しています。

テレビの画面

予約変更・削除

予約リストを選択し、操作メニューを表示後、[変更] または [削除] を選択します。

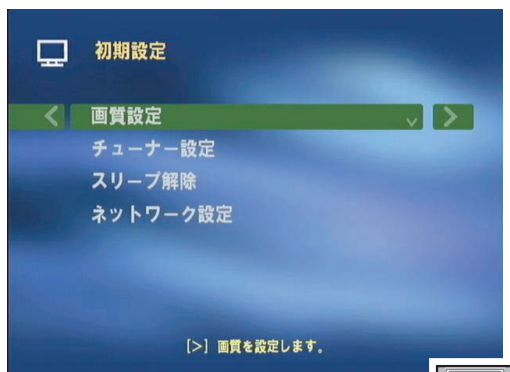
メモ　予約録画中の項目についての変更・削除はできません。

テレビの画面

設定項目の詳細については、32 ページをご参照ください。

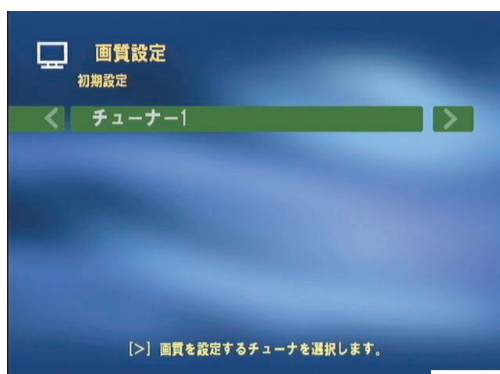
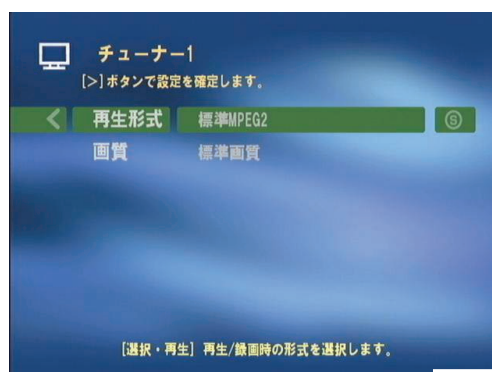
初期設定

「Link de 録 !!」の設定を変更したいときは次のようにしてください。

初期設定

初期設定画面でできる各種設定項目を表示します。

テレビの画面

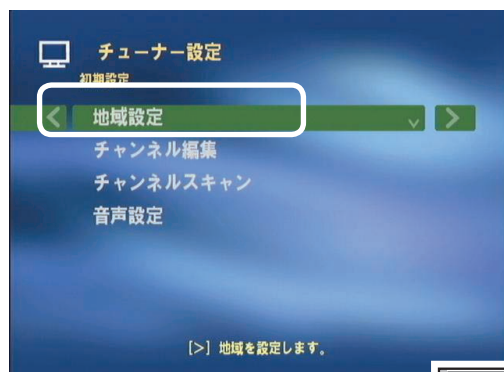
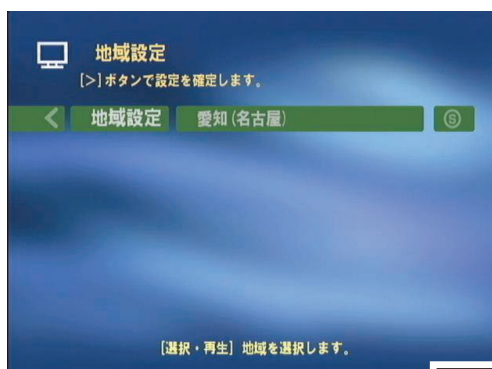
画質設定

[画質設定] を選択し、チューナーを選択します。操作メニューを表示後、再生形式･画質を設定します。

テレビの画面

テレビの画面

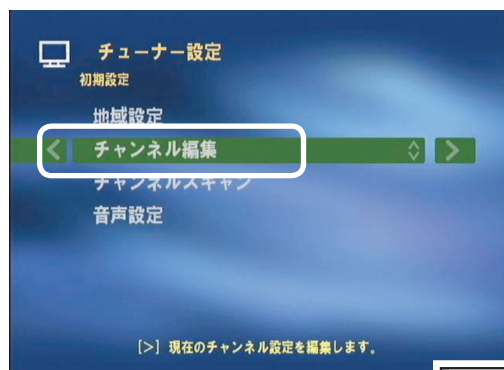
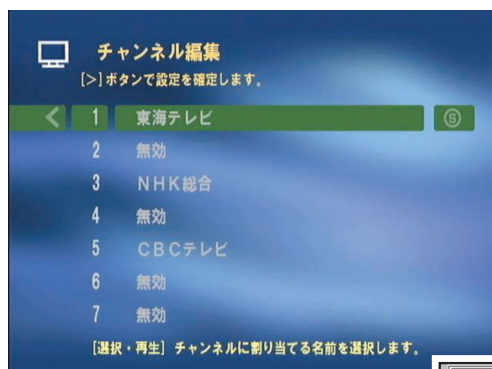
設定項目	設定内容	設定詳細
再生形式	MPEG2/MPEG4	録画・TV 視聴時の形式を選択します。 MPEG4 形式は、PC-MV7x/U2 シリーズ (PC-MV71DX/U2 など) のみ有効です。 ※本製品では、MPEG4 形式で録画された番組は再生できません。
画質	高画質 / 標準画質 / 低画質 /ST 画質	録画・TV 視聴時の画質を設定します。

地域設定

TV チューナーのチャンネル設定を、お住まいの地域に従って設定します。
表示されている地域を設定します。設定を完了させるには、▶ ボタンを押します。

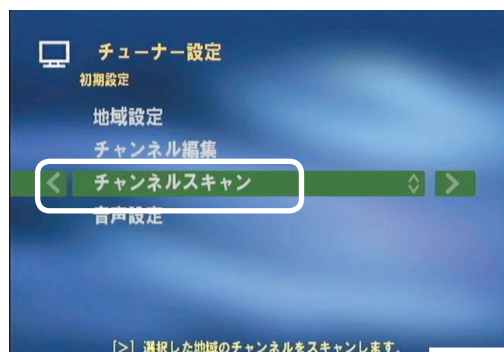
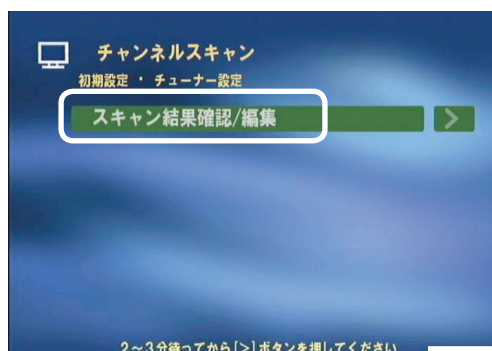
メモ　集合アンテナ・ケーブルテレビをご利用の方、チャンネルの詳細設定を変更される方は、[チャンネル編集] で設定してください。

テレビの画面

テレビの画面

チャンネル編集

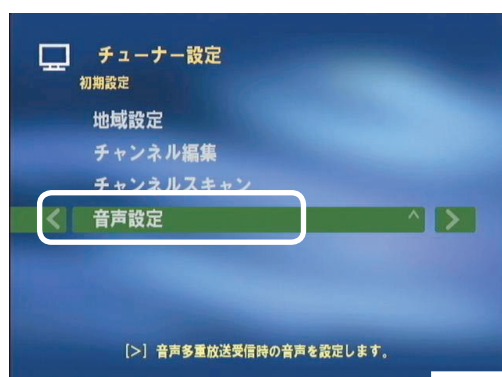
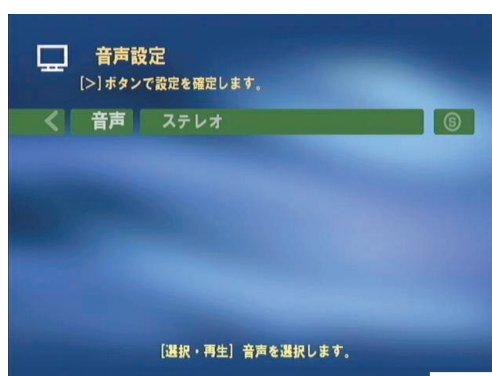
各チャンネルに割り当てる名前と無効なチャンネルを設定します。ここで「無効」に設定したチャンネルは TV 視聴や予約画面で選択できなくなります。設定を完了させるには、▶ ボタンを押します。

テレビの画面

テレビの画面

設定項目	設定内容
チャンネル番号	放送局名、無効、チャンネルを選択します。

チャンネルスキャン

地域設定で選択した地域のチャンネルをスキャンし、自動的にチャンネルを設定します。[チャンネルスキャン] を選択し、▶ ボタンを押すとチャンネルスキャンが開始されます。2 ～ 3 分待ってから [スキャン結果確認 / 編集] で ▶ボタンを押すとスキャン結果が表示され、[チャンネル編集] と同様に編集できます。

テレビの画面

テレビの画面

音声設定

TV 視聴、録画時の音声モードを設定します。

テレビの画面

テレビの画面

設定項目	設定内容	設定詳細
音声	ステレオ / 主音声 / 副音声 / 主＋副音声	TV 視聴・録画する際の音声モードを設定します。

スリープ解除

初期設定メニューから [スリープ解除] 選択し、▶ボタンを押すと LinkStation のスリープが解除されます。

EPG データ取得

初期設定メニューから [ネットワーク設定]-[EPG データ取得] 選択し、▶ボタンを押すと、EPG（電子番組表）のデータを最新内容に更新します。EPG データの取得には、数分かかります。

プロキシ設定

初期設定メニューから [ネットワーク設定]-[プロキシ設定] 選択し、▶ボタンを押すとプロキシ設定画面が表示されます。

設定項目	設定内容
プロキシ	利用する、利用しないを選択します。
IP 設定	プロキシアドレスを入力 (プロキシを [利用する] としたときのみ有効）します。
ポート設定	ポート番号を入力 (プロキシを [利用する] としたときのみ有効）します。

iCommand で録画予約する

テレビ王国ホームページのサービス iCommand を利用して、外出先のパソコンや携帯電話などからリモート録画予約することができます。
iCommand での録画予約手順は、USB キャプチャ BOX に付属のマニュアルをお読みください。
パソコンに USB キャプチャ BOX のユーティリティ CD をセットし、簡単セットアップから [iCommand での録画予約手順 (または iCommand(Link de 録 !!) 補足説明)] を選択し、[開始] をクリックすると表示されます。読みにくいときは、印刷してお読みください。

テレビ王国ホームページ　http://www.so-net.ne.jp/tv/

※本ソフトウェアはソニー株式会社の iCommand 技術に準拠しています。尚、iCommand、iRCommander、及びテレビ王国はソニー株式会社の登録商標又は商標です。

トランスコーダについて

本製品のソフトウェアをインストールすると、PC-P1LAN と互換性を保つためにトランスコーダがインストールされます。AVI ファイルや WMV ファイルを PC-P1LAN から再生する場合、自動的に PC-P1LAN で再生可能な MPEG2 ファイルに変換しながら再生します。

※トランスコードには以下の動作環境が必要となります。

■アプリケーション動作環境
【CPU】Pentium4 1.4GHz 以上または同等性能の互換 CPU　【メモリ】256MB 以上

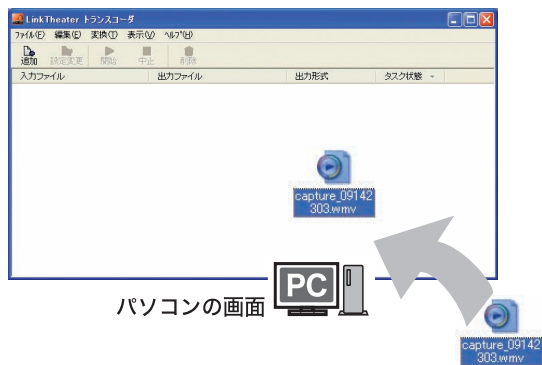
■動作推奨環境
AVI ファイル 画面サイズ 640x480 ドット 標準画質の場合
【CPU】 Windows Vista: 最新のプロセッサ 2.5GHz 以上、
Windows XP/2000: Pentium4 1.8GHz 以上 / Celeron 1.8GHz 以上 / Pentium M 900MHz 以上
Celeron M 1.0GHz 以上または同等性能の互換 CPU を推奨。
【メモリ】Windows Vista:1GB 以上、Windows XP/2000:512MB 以上を推奨。
＊ AVI ファイルの再生に必要な CODEC がパソコンにインストールされている必要があります。
＊画面サイズ・ビットレートによっては、上記以外の環境でも再生可能な場合もあります。
＊すべての動作を保証するものではありません。
＊ファイルによっては映像と音声がずれて再生されることがあります。
＊トランスコードして再生した場合、早送り・巻き戻し・コマ送り・スロー再生の操作はできません。
＊トランスコードして再生した場合、動画や音楽を停止したところから再開するレジューム機能が働きません。

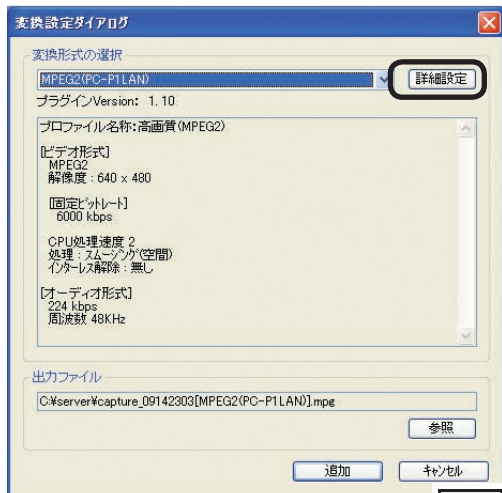
⚠注意　PC-P1LAN で MPEG-2、MP3 以外の形式は自動的にトランスコードして再生します (本製品ではトランスコードの必要はありません)。タスクトレイのアイコンを右クリックし表示されたメニュー [画質] で、画質を変更することができます。カスタム画質については、P38、39 に記載と同じ内容です。

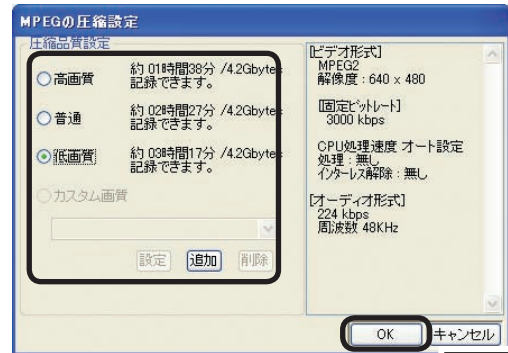
データを変換する

PC-P1LAN で、AVI ファイルや WMV ファイルを再生する場合や映像が滑らかに再生できないときは、あらかじめ付属のトランスコーダで MPEG2 ファイルにデータを変換します。

1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[PC-P4 シリーズ]-[トランスコーダ]-[トランスコーダ]をクリックします。

2 変換したいファイルをドラッグ&ドロップします。

パソコンの画面

3 [詳細設定]をクリックします。

パソコンの画面

4 圧縮品質を選択(「高画質」を選択しても 8Mbps 以下となります)し、[OK]をクリックします。

パソコンの画面

お好みの画質を個々に詳細の設定をしたいときは、[追加]をクリックし、詳細項目を設定してください。設定した項目は、[カスタム画質]として選択できるようになります。

設定できる項目は次の通りです。

調整モード

調整モードを固定ビットレート(CBR)、可変ビットレート(CVBR)、固定品質(CQ)から選択します。各モードの特徴は、「用語集」(P46)を参照してください。また、ここで選択したモードによって「レート設定」で設定できる項目が異なります。

ビットレート

設定する値が大きいほど映像がきれいになりますが、録画したファイルの容量も大きくなります。設定可能範囲は 192 ~ 8000(kbps) です。

調整モードで「可変ビットレート」を選択している場合は、ここで設定したビットレートを中心に最大ビットレートから最小ビットレートの範囲で録画します。設定する値は、下で設定する「最大ビットレート」と「最小ビットレート」の範囲に収まるように設定してください。

最大ビットレート

録画するときの最大ビットレートの設定です。調整モードで「可変ビットレート」を選択した場合のみ設定できます。設定可能範囲は、上項目の「ビットレート」の値 ~ 8000(kbps) です。

最小ビットレート

録画するときの最小ビットレートの設定です。調整モードで「可変ビットレート」を選択した場合のみ設定できます。設定可能範囲は 192(kbps) ~上項目の「ビットレート」の値です。

高圧縮高画質

調整モードで「固定品質」を選択した場合のみ設定できます。スライドバーをドラッグして画質を設定します。ゲージを高圧縮に近づけるとファイルサイズは小さくなりますが画質が悪くなります。ゲージを高画質に近づけると、ファイルサイズは大きくなりますが高画質となります。

インターレス解除

ボブに設定すると、ノイズは残りますがメディアンに比べシャープな画像になります。

メディアンは、画像をぼかしノイズを除去します。

CPU 処理速度

値が高いほど画質が向上しますが、CPU（パソコン）にかかる負荷が大きくなります。通常は、0～2の値を使用してください。

オーディオビットレート

ビットレートは高ければ高いほど音質は良くなりますが容量も大きくなります。

5 [追加] をクリックします。

パソコンの画面

メモ [出力ファイル]-[参照] をクリックすれば、変換後のファイルの保存先、ファイル名を指定することができます。初期設定では、変換元ファイルと同じ場所、ファイル名末尾に [MPEG2(PC-P1LAN)]_000 を追加して保存します (000 は同一名ファイルを複数回変換したときカウントアップされた番号となります)。

6 [タスク状態] が、[変換待ち] → [変換中] → [変換完了] と表示されます。

パソコンの画面

メモ 変換を中止するには、[中止] をクリックしてください。中止したファイルを変換するには [開始] をクリックしてください。

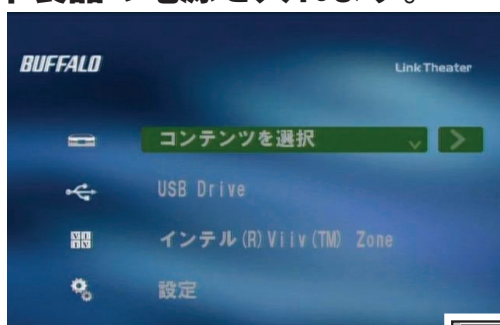
以上でデータの変換は完了です。

ファームウェアのアップデート方法

本製品のファームウェア（内部ソフトウェア）をアップデートする手順を説明します。

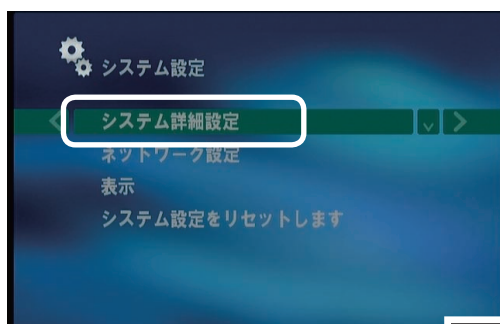
⚠注意 ・ファームウェアのアップデートするには、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。本製品と接続したルータや AirStation がインターネットに接続されていることを確認してください。

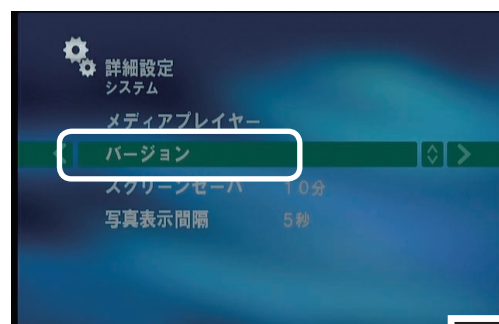
・アップデート中は、本製品の電源を切らないでください。また、ボタン操作も行わないでください。アップデートは通常 5 ～ 10 分で完了しますが、お使いのネットワーク環境（ネットワーク回線が込み合っている場合やアナログモデムをお使いの場合など）によっては 40 分程度かかることがあります。

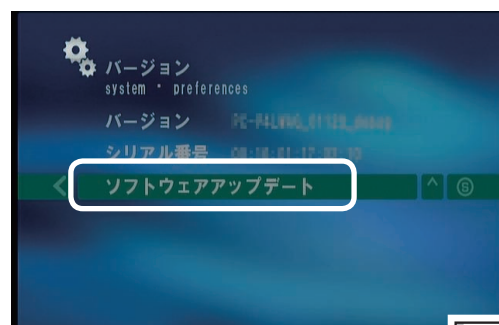
1 本製品の電源を入れます。

テレビの画面 TV

2 [設定] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 [システム詳細設定] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

4 [バージョン] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

5 [ソフトウェアアップデート] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

メモ すでに最新のファームウェアが搭載されていた場合、「アップデート情報はありません」と表示されます。

以上でファームウェアのアップデートは完了です。

困ったときは

電源が入らない

原因①：
電源アダプタがコンセントまたは本製品から外れている
対策①：
電源アダプタはコンセントおよび本製品に接続してください。

映像や音声が出ない

原因①：
テレビの接続が間違っている
対策①：
正しく接続してください

原因②：
入力を正しく選択していない
対策②：
テレビの入力を「ビデオ」にするなど、本製品を接続した入力を選択してください。

原因③：
本製品やテレビのミュート (消音) が有効になっている
対策③：
リモコンの [ミュート] ボタンを押して消音機能を無効にしてください。テレビの消音機能を無効にする手順はテレビに付属のマニュアルを参照ください。

原因④：
DirectX が破損している、または削除されている
対策④：
付属の CD をパソコンにセットし、簡単セットアップから [DirectX のインストール] を選択してください。以降が画面のメッセージにしたがって DirectX を再インストールしてください。

リモコンで操作できない

原因①：
電池が入っていない
対策①：
電池をリモコンにセットしてください

原因②：
電池が消耗している
対策②：
新しい電池と交換してください

原因③：
電池の入れ方が間違っている
対策③：
電池の極性（+、－）を確認して、正しく入れてください

原因④：
リモコンをテレビに向けている
対策④：
リモコンは本製品に向けて操作してください。

原因⑤：
リモコンと本製品の間に障害物がある
対策⑤：
障害物をなくすか、避けてお使いください。

原因⑥：
リモコンと本製品の間隔が遠い
対策⑥：
リモコンを本製品に近づけて操作してください。

登録フォルダに入れたファイルを認識できない

原因①：
ファイル名に半角カタカナを使用している
対策①：
ファイル名に半角カタカナが使用されていると認識できません。ファイル名を変更してください。

原因②：
ファイル名に 2 バイトコード文字（全角文字）を使用している
対策②：
ファイル名に 2 バイトコード文字が使用されていると正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は、ファイル名を変更してください。

本製品でパソコンが認識できない

原因①：
LAN ケーブルが接続されていない
対策①：
本製品およびパソコンに LAN ケーブルが接続されているか確認してください (カチッと音がするまで差し込んでください)。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因②：

ケーブルが間違っている（パソコンと直接接続する場合）

対策②：

パソコンと本製品を直接する場合は、クロスケーブルが必要です。クロスケーブルで接続してください。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因③：

本製品付属ソフトをインストールしていない

対策③：

付属 CD をパソコンにセットし、簡単セットアップから付属ソフトをインストールしてください。

原因④：

PPPoE 接続ツール（フレッツ接続ツールなど）がインストールされている

対策④：

PPPoE 接続ツールをアンインストールしてください。

原因⑤：

ルータやアクセスポイントが故障している

対策⑤：

どうしてもルータやアクセスポイントに接続した環境で認識できないときは、「はじめにお読みください」を参照して、パソコンと直接本製品を接続してお使いください。

原因⑥：

IP アドレスが間違っている

対策⑥：

「ルータをお持ちでない方へ」（P21）を参照して、本製品の IP アドレスとパソコンの IP アドレス「***.***.***.;;;」（「*」や「;」は数字）の ** 部分が同じであることを確認してください。

例えば、本製品の IP アドレスが「192.168.11.51」の場合､パソコンの IP アドレスが「192.168.11.61」などになっていることを確認してください。

原因⑦：

ファイアウォール機能を持つソフトがインストールされている

対策⑦：

ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品からパソコンを認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、**TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」** の使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。以下では､ファイアウォール機能を無効にする手順を例として記載します。

【トレンドマイクロ社ウイルスバスター 2006 ファイアウォール無効手順】

以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。

本製品の使用が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1. 画面右下のタスクトレイ内に表示される「ウイルスバスター 2006 」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから［メイン画面を起動］をクリックします。
2. メイン画面内の［不正侵入対策 / ネットワーク管理］をクリックし、カテゴリ画面から［パーソナルファイアウォール］をクリックします。
3. 「パーソナルファイアウォール」画面より［パーソナルファイアウォールを有効にする］のチェックボックスをクリックし、チェックの表示を消します。
4. ［適用］をクリックし、メイン画面を終了します。

以上で設定は完了です。

【Norton Internet Security 2006 ファイアウォール無効手順】

以下の手順で Norton Internet Security を無効にしてください。

本製品の使用が完了したら、再度「Norton Internet Security」を有効にしてください。

1. 画面右下のタスクトレイ内に表示される「Norton Internet Security 2006」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから［Norton Internet Security を無効にする］をクリックします。
2. ファイアウォール機能をオフにする期間を選択し、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows Vista ファイアウォール無効手順】

※ P45 のファイアウォールのブロックの解除を推奨します。

以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1.［スタート］ー［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2.［セキュリティ］をクリックします。
※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、［セキュリティ］項目はありません。手順 3 へ進みます。
3.[Windows ファイアウォール] の [Windows ファイアウォールの有効化または無効化] をクリックします。
4.[ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。
5.[Windows ファイアウォールの設定] 画面の [全般] タブの [無効（推奨されません）] にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows XP SP2(サービスパック 2) ファイアウォール無効手順】

※ P45 のファイアウォールのブロックの解除を推奨します。
以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1.［スタート］ー［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2.[セキュリティセンター] をクリックします。
※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、［セキュリティセンター］項目はありません。手順 3 へ進みます。
3.［Windows ファイアウォール］をクリックします。
4.「無効（推奨されません）」にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

映像、音楽、写真を再生できない

原因①
再生しているファイルの種類、画質、エンコード条件が本製品にあっていない
対策①
ファイルの種類や画質、エンコード条件によって本製品で再生できない場合があります。本製品で再生できる形式のファイルを再生してください (P4)。

原因②：
ファイルが壊れている
対策②：
ファイルが壊れている場合は再生できません。

原因③：
ベースライン JPEG 以外の JPEG ファイルを表示している
対策③：
本製品で表示できる JPEG ファイルは、ベースライン JPEG のみです。ベースライン JPEG ファイルを表示してください。

原因④
映像と音声がインターリーブされていない
対策④
インターリーブされていない AVI ファイルは再生できません。AVI ファイル作成時は、インターリーブする設定で作成してください。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

原因⑤
著作権保護されたファイルを再生している
対策⑤
本製品は著作権保護されたファイルを再生できません。著作権保護されていないファイルを再生してください。

映像が正しく表示されない

原因①：
NTSC 方式以外のテレビ方式で記録された映像を再生している
対策①：
NTSC 方式以外の方式で記録された映像は正常に表示されないことがあります。

原因②：
ビデオ機器を経由させテレビに接続している
対策②：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機器を経由させると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、テレビに直接接続してください。

原因③：
ビデオ機能を搭載したテレビに接続している
対策③：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機能を搭載したテレビに接続すると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、ビデオ機能が搭載されていないテレビと接続してください。

再生するとコマ落ち、音飛びする

原因①：
本製品を接続したネットワークで他の機器が通信している
対策①：
本製品の再生中に他の機器で通信を行っていると、ネットワークが混雑しコマ落ちや音飛びすることがあります。コマ落ちや音飛びする場合は、他の機器の通信を終了してから再生してください。

原因②：
11Mbps の無線で接続している
対策②：
11Mbps の無線で接続している場合、3Mbps 以上のファイルを再生するとコマ落ちや音飛びすることがあります。

原因③：
再生したファイルの種類や画質、エンコード条件が本製品とあっていない
対策③：
ファイルの種類や画質、エンコード条件によってコマ落ちや音飛びすることがあります。本製品の条件にあったファイルを再生してください (P4)。

原因④：
ビットレートが P4 に記載された値を超えている
対策④：
P38 に記載のトランスコード、または別途エンコードソフトウェアを用意し、ビットレートを小さくしてください。

「古いバージョンの Java ランタイムを検出しました」と表示され Buffalo Media Server をインストールできない

原因①：
古いバージョンの Java ランタイムを使用している
対策①：
[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除] から現在使用している Java ランタイムを削除してください。
Buffalo Media Server をインストールすると新しいバージョンの Java ランタイムも同時にインストールされます。

テレビで見たとき端 (外周部) の映像がカットされている、映像がずれて見える

一般的にテレビは映像信号の外周部を少しカットして表示するオーバースキャン表示方式を使用しています。テレビによってカットする量に差があり、お使いのテレビによっては、映像の端 (外周部) がカットされて見えたり、映像が左右または上下にずれて見えることがあります。

TV 視聴時、追っかけ再生時に画面が真っ黒になる (Link de 録 !!)

再生・録画形式が MPEG4 となっていると本製品では正常に表示できません。画質設定で MPEG2 に設定してください。

EPG（電子番組表）が表示されない (Link de 録 !!)

本製品を接続しているネットワークがインターネットに接続されているかご確認ください。接続されていないと EPG データを取得することができません。

Buffalo Media Server がブロックされて本製品でパソコンを認識できない (Windows Vista/XP)

付属ソフトのインストール後、パソコンを再起動したとき、「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されることがあります。
このようなときは、[ブロックの解除] をクリックしてください。

[後で確認する] をクリックしてしまった場合
Buffalo MediaServer を再起動してください。再び「このプログラムをブロックし続けますか?」と表示されます。[ブロックの解除]をクリックしてください。

[ブロックする] をクリックしてしまった場合
次の手順でファイアウォールの設定を変更してください。

Windows Vista

1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [セキュリティ] の [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。
3. [ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。
4. [Windows ファイアウォールの設定] 画面の [例外] タブの中の [プログラムまたはポート] の中の [BUFFALO MediaServer] にチェックを入れて [OK] をクリックします。

Windows XP

1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [ネットワークとインターネット接続]-[Windows ファイアウォールの設定を変更する] をクリックします (または [Windows ファイアウォール] をダブルクリックします)。
3. [例外] タブをクリックします。
4. [BUFFALO MediaServer] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させます。[OK] をクリックします。

AOSS 設定時にエラーメッセージが表示されたときは (PC-P4LWAG)

AOSS が正常に設定できないとき、以下のメッセージがテレビ画面に表示されます。そのようなときは次の対処を行ってください。

AOSS モードのアクセスポイントが見つかりませんでした
アクセスポイントが AOSS モードになっているか確認してください。またはアクセスポイントと製品を近づけてから再度設定を行ってください。

二つ以上の AOSS 状態のアクセスポイントが発見されました。時間を置いてやり直してください
AOSS はアクセスポイントと製品は 1 対 1 で行われます。AOSS 状態のアクセスポイントが 1 台になるまでお待ちください。

セキュリティキー交換でエラーが発生しました
セキュリティキー交換時に、電波を一時的に弱くします。何度やり直しても同じエラーが表示されるときは、アクセスポイントと製品を 50cm ほどに近づけて再度設定を行ってください。

他のクライアントが接続中のため、少し待ってからやり直してください
複数の無線パソコンが AOSS 機能を使ってアクセスポイントに接続しようとしています。1分程度時間をおいてから、再度設定を行ってください。

アクセスポイントの最大接続数を超えました
アクセスポイントの管理できるステーション数は 24 台までです。

LinkStation が見つからない (Link de 録 !!)

原因①
LinkStation が正しく設定されていない
対策①
メディアサーバ機能の設定を「利用する」にしてください。
弊社ホームページから LinkStation の最新版ファームウェアをダウンロードし、アップデートしてください。

原因②：
間違った IP アドレスを設定している
対策②：
本製品の設定画面 [システム設定]-[ネットワーク設定]-[プロファイル編集] で LinkStation と同じネットワークのローカルアドレスを設定してください。

用語集

- **AOSS(AirStation One-Touch Secure System)**

  弊社製 AirStation をご使用の際にワンタッチ作業で無線 LAN のセキュリティを設定する技術。

- **AVI**

  Microsoft 社が Windows 用に開発したデジタルファイルフォーマットです。AVI 形式 (コーデックを使用しない）で録画した場合、映像の圧縮を行わないため録画したファイルの容量が大きくなります（320 × 240 の解像度で録画した場合、30 分で約 5GB 必要です）。編集ソフトなどで簡単に加工できる特長を持ちますが、長時間録画を行うと映像と音声がずれることがあります。

- **CBR：Constant Bit Rate（固定ビットレート）**

  録画のとき常に同じビットレート（データ量）で録画します。そのため、動きの多いシーンなどでは動きの少ないシーンに比べ画質が落ちることがあります。また、動きが激しい場面では、ビットレートが足りない場合にブロックノイズが発生することがあります。

- **CQ : Constant Quality（固定品質）**

  映像品質を一定に保った状態で、ビットレートを自動的に変動させ録画します。

  映像によってビットレートが変動するため、録画する映像によって録画したファイルの容量が大幅に変わります（動きが多い映像ほど容量が大きくなります）。

- **CVBR ：Constrain Variable Bit Rate（可変ビットレート）**

  あらかじめ設定した範囲のビットレート（データ量）で録画するモードです。動きが多いときはビットレートが高くなり、動きの少ないときはビットレートを低くして録画を行います。本製品では、（平均）ビットレート、最大ビットレートを指定でき、（平均）ビットレートの値を平均値として録画を行います。

- **MPEG**

  Moving Picture Expert Group（通称 MPEG フォーマットフォーラム）が定めた動画圧縮の国際規格です。MPEG フォーマットは、映像と音声を別々に圧縮する方法が採用されており、DVD-Video や Video-CD にも使われているフォーマットです。MPEG フォーマットには、「MPEG-1」「MPEG-2」などいくつの形式があります。

- **MPEG-2**

  MPEG-1 フォーマットで蓄積されたノウハウを活かし、より画質を向上させたフォーマットです。DVD-Video の形式に用いられています。

- **WMV**

  Windows Media 形式の映像ファイルです。

- **コーデック（Codec）**

  コーデックとは符号化 (coding) と復号 (decode) を纏めて呼んだものです。映像や音声を圧縮・伸張するプログラムで、パソコンで映像を再生・保存するのに必要なものです。コーデックには様々な種類があり、映像ファイルによって必要なコーデックが異なります。もし、ファイルに適したコーデックがパソコンにない場合には、映像が表示されなかったり、音声が出力されないことがあります。

- **ビットレート**

  画質を決定する値です。ビットレートが高くなると画質が向上されますが、録画ファイルの容量が大きくなります。

仕様

メモ　最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

＜ PC-P4LWAG ＞

無線 LAN インターフェース	
準拠規格	IEEE802.11a：ARIB STD-T71（5GHz 帯小電力データ通信システム） IEEE802.11g、IEEE802.11b： ARIB STD-T66（2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システム）
伝送方式	DS-SS 方式単信（半二重）、OFDM 方式単信（半二重）
データ転送速度 (オートセンス)	6/9/12/18/24/36/48/54Mbps（IEEE802.11a/IEEE802.11g） 1/2/5.5/11Mbps（IEEE802.11b）
アクセス方式	インフラストラクチャモード
周波数範囲 (中心周波数) [チャンネル]	IEEE802.11a(W52/W53)： 5,180 ～ 5,310MHz(36ch,40ch,44ch,48ch,52ch,56ch,60ch,64ch) ※従来の 11a(J52) のみ対応のアクセスポイントとは接続できません。 IEEE802.11g/ IEEE802.11b：2,412 ～ 2,472MHz(1 ～ 13ch) ※ 携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が 2.4GHz 帯の無線を使用する場合は、混信する可能性があります。
アンテナ	外付 11a/11g デュアルバンド (2 本)
セキュリティ	WEP 128(104)/64(40)bit、WPA-PSK（TKIP/AES）
有線 LAN インターフェース	
対応規格	IEEE802.3/IEEE802.3u 準拠（10BASE-T/100-BASE-TX）
転送速度	10/100Mbps（オートセンス）
コネクタ形状	RJ-45 型 8 極コネクタ
外部出力	
S ビデオ	ミニ DIN4 ピン
D4 ビデオ	D 端子
コンポジットビデオ	RCA ピンジャック× 1（黄色）
デジタルオーディオ	光角型
アナログオーディオ	RCA ピンジャック× 2（左：白色　右：赤色）
外部入力	
USB 規格	Universal Serial Bus Revision2.0/1.1
USB コネクタ	シリーズ A
BUFFALO MediaServer	
対応パソコン	Ethernet ポートを搭載する DOS/V 機 (OADG 仕様)、 および NEC PC98-NX シリーズ
対応 OS	Windows Vista(32bit)、Windows XP、Windows 2000 SP4 以降 ※ Windows 2000 SP4 をお使いの場合、WindowsUpdate にて最新の状態にしてください。最新の状態でないと正常に動作しないことがあります。
CPU	Windows Vista: 最新のプロセッサ 2GHz 以上 Windows XP/2000:Pentium3 800MHz または同等性能以上の互換 CPU
メモリ	Windows Vista:512MB 以上 Windows XP/2000:256MB 以上
ネットワーク	Ethernet ポート（100BASE-TX/10BASE-T）

その他	
使用電源	AC100V　　50/60Hz
消費電力	最大 9W(USB コネクタ未使用時)
動作環境	温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 50%（結露なきこと）
外形寸法	220(W) × 47(H) × 124(D) mm（ゴム足を含む　アンテナを含まず）
重量	700g
対応 LinkStation/TeraStation	弊社製 HS-DGL シリーズ、HS-DTGL シリーズ、 HS-DHGL シリーズ、HS-DHTGL シリーズ

< PC-P4LAN >

有線 LAN インターフェース	
対応規格	IEEE802.3/IEEE802.3u 準拠（10BASE-T/100-BASE-TX）
転送速度	10/100Mbps（オートセンス）
コネクタ形状	RJ-45 型 8 極コネクタ
外部出力	
S ビデオ	ミニ DIN4 ピン
D4 ビデオ	D 端子
コンポジットビデオ	RCA ピンジャック× 1（黄色）
デジタルオーディオ	光角型
アナログオーディオ	RCA ピンジャック× 2（左：白色　右：赤色）
外部入力	
USB 規格	Universal Serial Bus Revision2.0/1.1
USB コネクタ	シリーズ A
BUFFALO MediaServer	
対応パソコン	Ethernet ポートを搭載する DOS/V 機 (OADG 仕様)、 および NEC PC98-NX シリーズ
対応 OS	Windows Vista(32bit)、Windows XP、Windows 2000 SP4 以降 ※ Windows 2000 SP4 をお使いの場合、WindowsUpdate にて最新の状態にしてください。最新の状態でないと正常に動作しないことがあります。
CPU	Windows Vista: 最新のプロセッサ 2GHz 以上 Windows XP/2000:Pentium3 800MHz または同等性能以上の互換 CPU
メモリ	Windows Vista:512MB 以上 Windows XP/2000:256MB 以上
ネットワーク	Ethernet ポート（100BASE-TX/10BASE-T）
その他	
使用電源	AC100V　　50/60Hz
消費電力	最大 7W(USB コネクタ未使用時)
動作環境	温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 50%（結露なきこと）
外形寸法	220(W) × 47(H) × 124(D) mm（ゴム足含む）
重量	650g
対応 LinkStation/TeraStation	弊社製 HS-DGL シリーズ、HS-DTGL シリーズ、 HS-DHGL シリーズ、HS-DHTGL シリーズ